

bizz

品番
HB-24HDVR

取扱説明書

24V型DVDプレーヤー内蔵
デジタルハイビジョンLED液晶テレビ



この図は弊社製品の液晶テレビをお買い上げ頂まして誠にありがとうございます。

●ご使用前に必ずこちらの取扱説明書をお読みいただき、内容を十分理解された上で正しくご使用ください。
特に「ご使用上の注意」は、液晶テレビをご使用前に必ずお読みになり正しくお使いください。

●お読みになられた後は、いつでも取り出せるところに大切に保管ください。

●本製品に記載されている他社製品名は、一般に各社の製品名または登録商標です。

●本製品は日本国内で使用いただくために設計・製作されたものです。

●記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用していない場合には使用できないものがあります。

●保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等、必要項目の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。

一般家庭用

保証書別添付
CNR7-20107-0

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画・予約再生

外部機器と接続

設定と調整

DVD

その他

目次

はじめに	1
目次	1
付属品を確認する	2
受信できる放送種類	2
ご使用上の注意	3
各部の名称と機能	6
リモコンのボタンと機能	7
リモコンの準備と使い方	8
準備と接続	9
スタンドの取り付け方	9
アンテナとACアダプターをつなぐ	9
mini B-CASカードを入れる	10
mini B-CASカード使用注意事項	10
mini B-CASカードについて	10
インターネットを利用する為の接続をする	11
接続のしかた	11
初期設定	12
かんたん設定	12
再度かんたん設定を行う	13
アンテナの設定と調整	13
アンテナ設定	13
アンテナを調整するとき	13
ネットワークを設定する	14
有線LANの設定	14
ネット情報表示	14
ハードディスクの接続と設定	15
接続のしかた	15
新しいハードディスク登録と初期化	15
USBハードディスクの設定をする	15
録画機器を選択する	16
ハードディスクの情報表示	17
機器の取りはずし	17
テレビを見る	18
基本的な使いかた	18
3桁入力での選局	19
字幕表示	19
外部入力画面切替	19
地デジ放送に切り換える	19
チャンネル情報を見る	19
デジタル放送の便利な機能を使う	20
番組情報を見る	20
他の音声切替	20
自動で電源を切れるようにする	20
眠症番号を設定する	20
番組の明暗を制限する	21
画面サイズを切り換える	21
省エネ設定	21
データ放送を楽しむ	22
録画データ放送を楽しむ	22
番組表を使う	23
番組表の見たかた	23
見たい番組を見る	23
番組表で番組説明を見る	23
番組表を便利に使う	24
予約リストに切り換える	24
番組表のメニュー	24
ジャンルを絞りこむで番組を探す	24
録画/予約/再生	25
録画・予約機能について	26
見ている番組を直接録画する	27
録画停止	27
番組表で録画/視聴予約をする	28
番組検索で録画・予約をする	29
日時を指定して録画・予約をする	30
予約の確認・取消しをする	31
予約の確認・変更・取消し	31
録画予約と同時予約の優先順位	31
録画した番組を再生する	32
再生の基本操作	32
再生時のリモコン操作	33
録画した番組を保護する	33
録画再生時の設定を変える	33
録画した番組を削除する	33
外部機器と接続	34
接続のしかた	34
HDMIケーブルで接続する	35
パソコンを接続する	35
ビデオ(AVケーブル)で接続する	35
USB/ハードディスクを接続する	35
設定と調整	36
映像設定 お好みの映像を設定する	36
音声設定 お好みの音声を設定する	37
機能設定	38
画面サイズ切替	38
省エネ設定	38
ネット設定	38
ハードディスク	38
各種設定(個人情報)	39
都道府県設定	39
郵便番号設定	39
電話番号設定	39
視聴制限設定	40
メール表示	40
設定リセット	40
各種設定(機器設定)	40
字幕設定	41
初回スクリーン	41
再スクリーン	41
アンテナ設定	41
スキップ設定	41
プリセット設定	42
ダウンロード	42
ID表示	42
各種設定(B-CASカード情報)	42
各種設定(工場出荷時リセット)	42
DVD	43
DVDプレーヤーを設定する	43
DVD/CDを再生する	46
再生中の便利な使いかた	47
DVD/CDディスクについて	50
その他	52
故障が起きたと思ったら	52
エラーメッセージ一覧	55
その他の情報	57
主な仕様	58
メモ	60
アクセラレータ	62

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画・予約再生

外部機器と接続






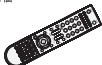



設定と調整

DVD

その他

付属品を確認する

すべて入っているかご確認ください。

① スタンド..2個 	② スタンド取付ネジ..4個 	③ 専用ACアダプター..1個 
④ 電源コード..1個 	⑤ mini B-CASカード..1枚 	
⑥ リモコン..1個 	⑦ 単4形乾電池..2個(動作確認用) 	
⑧ 保証書..1部 	⑨ 取扱説明書..1部 	

受信できる放送種類

本機は地上デジタル放送を受信することができます。アナログ放送は受信できません。

地上デジタル

2003年12月から関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で開始され、2006年末までにその他の都道府県の県庁所在地で開始された、地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。

● これまでの地上アナログ放送と比べて、以下の特徴があります。

- ・ デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送(MPEG-2 PCM/AAC方式)
- ・ 高音質放送、マルチチャンネルのサラウンド放送
- ・ コーストのない鮮明な映像
- ・ 電子番組表(EPG)

放送電波で送られる番組情報で画面に番組表を表示させ、視聴番組を選んだり録画予約をしたりすることができます。

● 天気予報や番組案内などのデータ放送、番組に連動したデータ放送、視聴者参加型の双方向サービス
通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送があります。また、双方向サービスによるオンラインショッピングや、視聴者参加型のクイズ番組などもあります。

● 受信にはUHFアンテナを使用します。
従来のUHF放送受信に使用していたUHFアンテナをそのまま使用できる場合と、交換または調整が必要な場合があります。

● 本機は「CATV/バススルー」対応です。

ケーブルテレビ局が再送信する地上デジタル放送を受信することができます。

※ 本機では、部分受信サービスは受信できません。(ワンセグ放送は受信できません。)



ご使用上の注意

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この「ご使用上の注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意




この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




絵表示の例





禁止の行為であることを告げるものです。	注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	絶対に分解や修理はしない	絶対に触れない
必ず電源プラグをコンセントから抜く	絶対にぬれた手で触れない	絶対に水にぬらさない	絶対に浴室やシャワー室では使用しない	高圧注意 (本体背面に表示)

		<p>警告</p> <p>● 風呂場では使用しない また、水などをかけないでください。 火災・感電の原因になります。</p> <p>水ぬれ禁止</p>	<p>● 万一、壁が出ている、異臭や異音があるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。壁が出なくなるのを確認して販売店または弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p> <p>電源コードを抜く</p>
		<p>● ACアダプターコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない 火災・感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>● お客様自身による修理・改造はしない 感電の原因になります。内部の点検・修理は販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。</p> <p>分解禁止</p>
		<p>● この機器を水にぬらさない 火災・感電の原因になります。 雨・天・降雪中・海岸・水辺では使用しないでください。</p> <p>絶対に水にぬらさない</p>	<p>● ACアダプターコードが傷んだら(芯線が露出、断線など)、使用しない そのまま使用すると火災・感電の原因になります。</p> <p>指示</p>
		<p>● この機器を改造しない 火災・感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p>	<p>● くらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>
		<p>● ACアダプターコードを傷つけたり、破損させない。また、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりしない ACアダプターコードが損傷し、火災・感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>● 万一、異物が機器の内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社サポートセンターに連絡する そのまま使用すると火災・感電の原因になります。</p> <p>指示</p>

ご使用上の注意(つづき)



警告	<ul style="list-style-type: none"> ■表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因になります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ■万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、販売店または弊社サポートセンターに連絡するのままで使用すると、火災・感電の原因になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■万一、内部に水などが入った場合は電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店または弊社サポートセンターに連絡するのままで使用すると、火災・感電の原因になります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ■この機器の開口部から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしない 	<ul style="list-style-type: none"> ■この機器の上にはびん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などが入った容器または小さな金属物を置かない 	

注意	<ul style="list-style-type: none"> ■本体を落としたり、衝撃を与えない 故障・火災・感電の原因になります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ■濡れた手でACアダプターコードを抜き差ししない 感電の原因になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■お手入れの際は安全のため電源プラグ(ACアダプター)をコンセントから抜いて行う ■この機器をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜く ■移動させる場合は、安全のため電源を切り、必ず電源プラグ(ACアダプター)をコンセントから抜いて行う ・ACアダプターコードが彎つき、感電の原因になります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ■電源プラグを抜くときは、ACアダプターコードを引っ張らない ACアダプターコードが彎つき、感電の原因になります。必ず電源プラグを持って抜いてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ■次のような使い方はしない ・本体を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に入れ込む。 ・ケーブル類を掛けたり、じゅうたんや布の上に乗く。 	

<ul style="list-style-type: none"> ■湿度やほこりの多い場所に置かない 火災・感電の原因になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■キャビネットなど閉めきったところに入れて使うときは、換気のため本機の周り約3cm以上空ける 	
<ul style="list-style-type: none"> ■調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■この機器に乘らない 掛れたり、こわれたりしてけがの原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ■ACアダプターコードを熱器具に近づけない ACアダプターコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■万一、この機器を落としたり、破損した場合は電源を切り、販売店または弊社サポートセンターに連絡するのままで使用すると、火災・感電の原因になります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ■夏期の直射日光の当たる所や、熱器具の近くなど高温になるところに放置しない 機器に障害を与え、火災・感電の原因になります。 		

ご使用上の注意(つづき)

乾電池についての安全上のご注意

警告	<ul style="list-style-type: none"> ■乾電池は乳幼児の手が届く所に置かない 	
<ul style="list-style-type: none"> ■乾電池を破砕し、窒息することがあります。また消化管内に留まると中毒などの原因となり大変危険です。飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ■乾電池が濡れもしたときは素手でさわらない ・もし液が目に入ると、失明の恐れがあります。 ・皮膚に付着した場合は、炎症など傷害を負う可能性があります。 ⇒炎などの症状が出た場合は、ただちに医師に相談してください。 	
注意	<ul style="list-style-type: none"> ■乾電池は正しい向きに入れる 乾電池の発熱事故や破裂、液もれによる火災・けがの原因となることがあります。 ■乾電池は直射日光の当たる場所やストープのそばなどの高温の場所に置かない てください。 ■乾電池を加熱したり、火の中に入らない 乾電池の破裂や液もれによる火災・けがの原因となることがあります。 ■種類の異なる乾電池や、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない 乾電池の発熱事故や破裂、液もれによる火災・けがの原因となることがあります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ■乾電池は正しい向きに入れる 乾電池の発熱事故や破裂、液もれによる火災・けがの原因となることがあります。 ■指定以外の乾電池を使わない 乾電池の破裂や液もれによる火災・けがの原因となることがあります。 ■乾電池は分解しない 乾電池の発熱事故や破裂、液もれによる火災・けがの原因となることがあります。 ■乾電池を使い切ったときや、長期間使わないときは乾電池を取り出す 乾電池の破裂や液もれによる火災・けがの原因となることがあります。 		
		

使用上のご注意とお願ひ

■取扱いについて

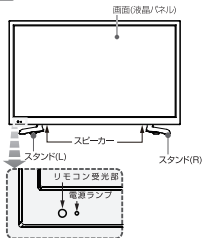
- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引当など、速くへお返しは、傷つけないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動にあたらないでください。
- 本機に発生菌など、汚染性のものがかからないでください。また、ゴムやビニール類などは長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグ(ACアダプター)は非常時と長期間ご使用にならないときは、常時コンセントに接続してください。(番替情報取得するためです。)
- 本機は近くはキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁場の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
- 本機が「らびー」という振動や赤いLEDの点滅音が響く場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力(ビデオ入力1、HD入力1、2)の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合はこの遅れによる違和感を感じることがあります。
 - ・ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
 - ・DVDのビデオなどの音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合

■免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用方法または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の喪失、事業の中断、原材料金の損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことよって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 録画・音声機器に近く記録(録音、録音など)でせながら内容または変化する内容の複製、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作から生じた損害(録音装置などの故障、録画内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合はお客様の不利益について、当社は責任を負いません。

各部の名称と機能

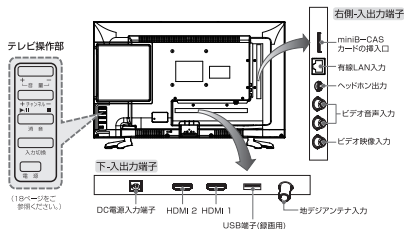
前面



電源ランプ

赤点灯	待機状態
菊点灯	機能待機 (EPGなどを取得するための録画中)
緑点灯	起動状態
赤点滅	D.L. (ダウンロード) 実行中

背面



側面

○ヘッドホンを使用するときには

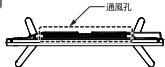
・テレビ側面にある「ヘッドホン出力端子」へ直径3.5mmステレオミニプラグを挿入してください。

・ヘッドホン出力端子を使用している時は、テレビ本体のスピーカーから音は出力されません。ヘッドホンの音量は、本体やリモコンにある「音量」ボタンで調節できます。

・ヘッドホン出力端子から差さないと、音量を小さくしてください。突然大きな音が出ることがあります。



上面



■通風孔を塞がない

本体にある開口部は換気用です。過熱を防ぐため、通風孔を塞がないでください。テーブルクロスやカーテンなどを掛けたり、しゅうたいや布団の上に置かないでください。

リモコンのボタンと機能

ご注意:本取扱説明書に掲載している画面表示は説明のものであり、実際の表示とは多少異なります。

1.電源

・電源を入/切します

2.消音

・消音入/切します

3.入力切替

・外部入力を切り換えます

4.地デジ

・地上波放送に切り換えます

5.オフタイマー

・オートオフの時間設定をします

6.3桁入力

・チャンネル選局時に番号を入力します

7.音声切替

・音声を切り換えます

8.字幕

・字幕表示を切り換えます

9.画面表示

・チャンネルの情報を表示します

10.データ

・データ放送の画面に切り換えます

11.数字ボタン

・チャンネル選局時に番号を入力します

・チャンネルを選びます(ワンタッチ選局)

12.番組表

・番組表の画面に切り換えます

13.録画リスト

・録画リストの画面に切り換えます

14.番組情報

・番組の詳細情報を表示します

15.音量[+]/[-]

・音量を調節します

16.チャンネル[▲]/[▼]

・チャンネルを選びます(順次選局)

17.予約リスト

・予約リストの画面に切り換えます

18.メニュー

・設定メニューに切り換えます

19.戻る

・前の項目に戻る時に押します

20.録画

・録画を開始する時に押します

21.▲▼◀▶

・上下左右にチャンネルを移動します

22.決定

・決定する時に押します

23.DVD

・DVD入力の切り換えます

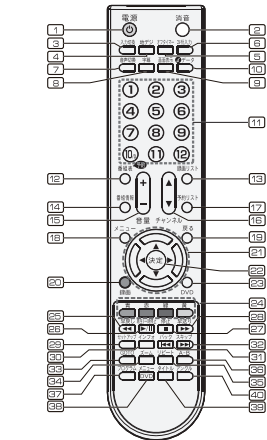
24.消/赤/録/黄

・番組表やデータ放送画面で使用します

・多様な用途があります

25.早戻し

・再生中の録画データの早戻しをします



26.再生/一時停止

・再生中の録画データの停止をします

27.停止

・時間に移動します

28.早送り

・再生中の録画データの早送りをします

29.セットアップ(DVD)

・DVD設定画面が表示されます

30.メニュー(DVD)

・再生情報を表示します

31.バック(DVD)

・前の録画データを再生します

・DVDのチャプターリターンをします

32.スキップ(DVD)

・タイトルを指定して再生をします

・DVDのチャプタースキップをします

33.GOTO(DVD)

・直接指定されたチャプターあるいは時間に移動します

34.ズーム(DVD)

・画像の拡大/縮小の切り換えができます

35.リピート(DVD)

・繰り返し再生します。

36.A-B(DVD)

・区間(A-B)の繰り返し再生をします

37.プログラム(DVD)

・プログラム表示画面にします

38.メニュー-DVD(DVD)

・前の録画データを再生します

39.タイトル(DVD)

・タイトルを指定して再生をします

40.アングル(DVD)

・映像アングルを切り換えます

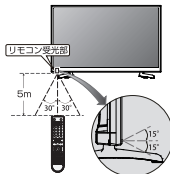
リモコンの準備と使い方

リモコン使用上のご注意

- リモコンは本体の受光部に向けて操作してください。
- 水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- リモコンに衝撃を与えないでください。
- 付属の単4形乾電池は動作確認用のものです。

リモコンに使用している乾電池は

- 指定以外の乾電池（マンガン電池など）は使用しないでください。
- 強性表示“+”と“-”を間違えて挿入しないでください。
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れておかないでください。
- 表示されている「使用推奨期間」の過ぎた乾電池や、使用し切った乾電池はリモコンに入れておかないでください。
- 種類の違う乾電池や新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。これを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけどが原因となることがあります。もれた液が目や口に入ったり、皮膚に付いたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
- 衣類に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 器具に付いたときは、液に直接触れないでふき取ってください。



リモコンの受信範囲

上図のようにテレビのリモコン受光部から左右30度、上下15度以内の角度、距離5m以内で使用してください。角度がある状態で操作しようとするとき信号が届かない場合があります。できるだけリモコン受光部正面から正対した状態でリモコン操作を行ってください。リモコンと受光部の間に障害物（置物、雑誌、壁、扉などの遮蔽物）があると信号が届きません。リモコンで操作できない場合は障害物を取り除いてください。

リモコンに乾電池を入れる

- ① 矢印部分にあるツメを指で押しながら、上へ電池カバーを持ち上げてください。
- ② 単4形乾電池のプラス（+）とマイナス（-）を間違えないように入れてください。
- ③ 指で押さえるツメと反対側にある電池カバーを留めるツメを、リモコン本体側に引っ掛けるようにして元どおりに閉めてください。

乾電池の入れかた

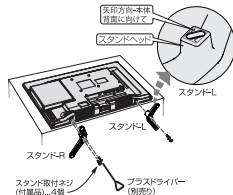


※ 付属の単4形乾電池2本は動作確認用です。ご使用になる場合は新しい乾電池をご用意ください。

スタンドの取り付け方

- 製品に貼り付けられている保護フィルム等はキズ防止のため、必ずスタンドの取り付けおよび本体の設置が完了してからはがしてください。

- 1 梱包箱から本体と付属品を取り出す**
スタンドとスタンド取付ネジは付属品に入っています。
- 2 本体を固のように置く**
本体を取り出し、きれいな柔らかい布などを敷いた平らな台の上に、本体液晶パネル面を下にして置きます。
- 3 スタンドの向きに注意しながら本体にスタンドを取り付ける**
本体底面にあるネジ穴にスタンドヘッドを合わせ、スタンド取付ネジ4本でしっかりと固定します。
- 4 取り付け確認をする**
本体を起こし、平らな場所に置きます。本体を軽くゆすってみて、緩みや歪み、ガタツキなどがないか確認してください。また、スタンドの前後方向に間違いがないか、再度確認してください。



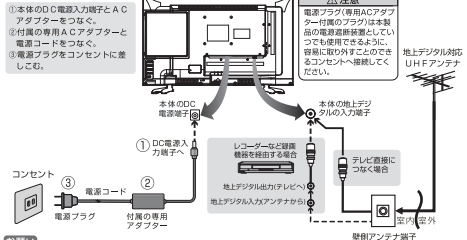
※組み立て設置上の留意点:

- スタンドプレートを安全に正しく取り付けるために、取扱説明書に従って、プラスドライバーを使用してください。
- スタンドを取り付けるとき、ネジ穴の緩みや破損などを防ぐため、電動ドライバーなどは使用しないでください。
- 液晶画面を傷つけないように、タオルや布などを敷いて、組み立ててください。

アンテナとACアダプターをつなぐ

- アンテナ線の接続方法はアンテナ線の形状によって異なります。下図を参照して接続してください。
- 下記の①、②、③の順で接続してください。本製品に付属されているA/Cアダプターと電源コードを使用して接続してください。他製品用のA/Cアダプターを使用すると故障の原因になります。

接続の手順



お留意

- アンテナ工事には専門的な知識と技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- アンテナ線を接続するときは、必ずテレビ本体および接続機器の電源プラグを抜いてください。
- アンテナ線は必ず同軸ケーブルを使用してください。
- アンテナ線にデジタル機器を近づけないでください。
- ケーブルテレビに接続するときは、伝送方式や接続についてケーブルテレビ社にお問い合わせください。

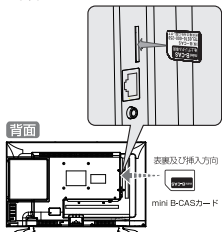
mini B-CAS カードを入れる

mini B-CASカード使用注意事項

- 破損させないでください。
- 金属端子部分には手を触れないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。
- デジタル放送を視聴中にmini B-CASカードを抜き差しすると故障の原因になるのでおやめください。
- mini B-CASカードを抜くときは、テレビ本体の電源プラグを抜き、ゆっくりと引き出してください。

● mini B-CASカードを挿入する時は、下記の手順で行ってください。

- ① 表裏及び挿入方向をよく確認し、カチッと音がするまで確実に挿入してください。（挿入方向を間違えるとデジタル放送は視聴できません。）
- ② mini B-CASカード(付属品)を窓のように差し込みます。



※テレビ本体のB-CASカードスロットに、図の方向で挿入します。（奥まで確実に挿入してください。）

● mini B-CASカードを取り外すときは、下記の手順で行ってください。

- ① テレビ本体の電源プラグを抜く
- ② mini B-CASカードを軽く押し込む
- ③ 指を離すとmini B-CASカードの端が少し飛び出す
- ④ 端をつまんで引き抜く



mini B-CASカードについて

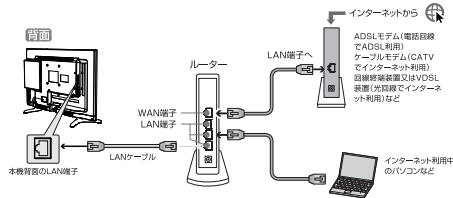
- 地上デジタル放送を視聴するために本製品に付属されているmini B-CASカードをご使用ください。
- mini B-CASカードは本製品の付属品として、使用許諾契約約款が記載された台紙に添付されています。
- mini B-CASカードの所有権は(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに帰属します。
- 開封すると使用許諾契約約款に同意したとみなされますので、開封前に使用許諾契約約款をよくお読みください。
- mini B-CASカードの保証期間は、本製品のお客様へのお引き渡し完了日から3年です。詳しくは、mini B-CASカード使用許諾契約約款をご覧ください。
- 保証期間後にmini B-CASカードを交換する場合は、カード発行費用がかかります。
- mini B-CASカードのIDナンバーは、画面上で確認できます。
- mini B-CASカードを損壊、紛失した場合、B-CASカスタマーセンターまでご連絡ください。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
B-CASカスタマーセンター
TEL:0570-000-250

インターネットを利用する為の接続をする

接続のしかた

データ放送の双方向サービスを利用すると、ショッピングやクイズ番組への参加が楽しめます。
※本機は電話回線を利用した双方向サービスは対応していません。



【注意】 LANケーブルを抜き差しする場合、本機と接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

- はじめてインターネットを利用する場合、プロバイダー(ネット接続業者)が通信事業者と契約する必要があります。詳しくは通信事業者もしくは家電量販店などにご相談ください。
- 接続完了後、必要に応じて「ネットワーク設定」を行ってください。
- すでにインターネットをご利用の場合、ルーター-LAN端子と本機のLAN端子をLANケーブルで接続してください。「ネットワーク設定」は必要ありません。
- モデムとルーターが一体化されていることもありますので、それぞれの取扱説明書をよくお読みください。

【お知らせ】

- ※本機でルーターやルーター内蔵モデムを設定することはできません。機器によってはパソコンなどで設定する必要があります。
- ※本機はISDN回線などでのインターネット及びダイヤルアップ通信を利用することはできません。
- ※取扱説明書に提示されていない機器を接続した場合、正常に通信できないことがあります。
- ※ルーターなどが正しく設定されていない目録に本機のLAN端子を接続すると、正常に動作しないことがあります。

初期設定 かんたん設定

- お買い上げ後、初めて電源を入れたとき、「かんたん設定案内」が表示されます。
- アンテナ線の接続を確認し、電源プラグ、mini B-CASカードなどが前述のページで説明された通り、正しく接続に差し込んでいることを確認してください。

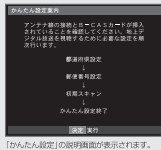
「かんたん設定」の流れ

1 電源を入れます

- リモコンの電源ボタン、または本体の電源ボタンを押して電源を「オン」にします。オンの状態になると、本体の電源ランプが緑色に点灯します。
- ※電源が入っていない時は、本体の電源ランプが赤色に点灯します。

2 かんたん設定案内が表示されます

- かんたん設定案内の表示画面で【決定】を押します。初期設定が始まります。



「かんたん設定」の説明画面が表示されます。

3 地域設定

- お住まいの地方を▲▼で選び、【決定】を押します。



4 都道府県設定

- お住まいの都道府県を▲▼で選び、【決定】を押します。



5 地域の郵便番号設定

- お住まいの地域の郵便番号を「1～10.0」数字ボタンで入力し、【決定】を押します。

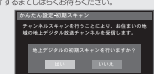
1メニュー操作手順の表記について



- 「1」～「10.0」で入力【決定】を押します。
- 間違えて入力したときは、◀でキャンセルを戻してからもう一度入力します。
- お住まいの地域に密着したデータ放送（地域の天気予報やニュースなど）を視聴できるように設定されています。
- ※お使いの機種で対応できない地域が指定されます。

6 初期スキャン画面が表示されます

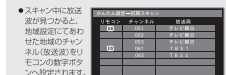
- 画面の説明を読み、◀▶で「はい」を選んで【決定】を押します。地上デジタル放送のチャンネルスキャンが自動的に始まります。終了するまでしばらくお待ちください。



スキャン中、進行状況を黄色いバーで表示します。

7 地上デジタル放送チャンネルの設定内容が表示されます

- スキャン完了後、画面に受信チャンネルリストが表示されます。スキャン結果を確認し【決定】を押します。もう一度スキャンを行う時は、【戻る】を押して⑥の初期スキャン設定から再度行います。

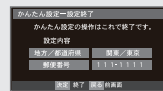


- スキャン中に放送波が弱くなる、地域設定にあわなかった地域のチャンネル（放送波）をリモコンの数字ボタンで設定できます。
- 自動設定された内容を変更したい場合は、「プリセット」ボタンで設定しなおすことができます。（42ページ）

初期設定 かんたん設定(つづき)

8 設定完了

- 設定完了の画面が表示されたら、内容を確認して、【決定】を押し、かんたんな設定を終了します。



設定しても放送が正しく映らない場合

本機とアンテナの接続が正しくない場合があります。以下のことを確認して、再度設定してください。

1 デジタル放送の受信方法を確認する

●**屋外アンテナの場合**
アンテナが地上デジタル放送のUHFアンテナ、またはVHF/UHFの複合アンテナになっていないかご確認ください。詳しい内容は販売店がアンテナ設置業者に相談ください。

●**ケーブルテレビの場合**
地上デジタル放送を視聴するために、ケーブルテレビ放送（CATV）やマッシュアップなどの共有システムをご利用の場合は、パススルー方式での地上デジタル放送受信に対応しているか、ご契約ケーブルテレビ会社や共有システムの利用者にそれぞれお問い合わせください。

2 デジタル放送の受信強度の確認

受信強度の確認方法は「アンテナ設定と調整」をご覧ください。

●**（地上デジタル受信度60%未満の場合）**
電波が弱い電波障害の可能性があるので、お買い上げのお店、又はお近くの電気店にご相談ください。

●**（地上デジタル受信度0%の場合）**
アンテナ線などの接続に間違いはありませんか？ご確認の上、もう一度アンテナ設定を行ってください。

3 地上デジタルアンテナ調整と設定

症状が改善されない場合は、アンテナの交換や方向調整が必要になることがあります。お買い上げの電気店にご相談の上、1・3ページを参照して、アンテナレベルを確認しながらアンテナの方向を調整してください。

●**ご確認の上、「かんたん設定」をやり直してください。**
※訂正しなくても受信地域が変わったときには、「かんたん設定」をやり直してください。

再度かんたん設定を行う

初めて「かんたん設定」設定後、再度設定を行う場合。

- 1【メニュー】を押し、【設定メニュー】を表示します。▼▲と【決定】で、「各種設定」⇒「かんたん設定」の順に進みます。



※チャンネル設定について詳しくは、41ページをご覧ください。

アンテナの設定と調整

テレビが全く映らない、または画面が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベル（電波の強さ）を確認してください。

- 地上デジタル放送の場合、「かんたん設定」の手順7で、ワンタッチ操作ボタンにチャンネルが全く設定できなかった場合は以下の操作はできません。

アンテナ設定

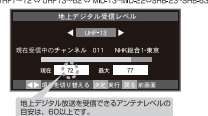
受信レベルは受信強度を表します。両面受信を両面にするためには、十分な受信レベル（目安電圧）を確保する必要があります。

- 1【メニュー】を押し、▲▼で「各種設定」を選択し、【決定】を押します。▼▲と【決定】で、「機器設定」⇒「アンテナ設定」の順に進みます。



2 ◀▶で「放送チャンネル」を選びます。

- ⇒▶を押すたびに以下のように入切の切りかわります。



地上デジタル放送を受信できるアンテナレベルの目安は、60dB以上です。

- お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている放送チャンネルを選んでください。（お買い上げの販売店にご相談ください）

- レベルの数値が推奨の数値以上になっているか確認してください。

アンテナを調整するとき

アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をってください。

- 高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整します。

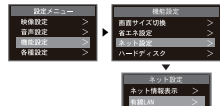
- 真滴のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを指したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。

ネットワークを設定する

有線LANの設定

本機は、データ放送に対応しております。有線LAN端子が搭載されていますので、双方向き相互サービス、連動データ放送がご利用できます。

- 1 [メニュー] を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、[決定] を押します。同様に▲▼と[決定] で、「ネット設定」⇒「有線LAN」の順に進みます。



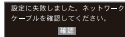
- 2 「有線LANの設定方法」の表示画面で「IPアドレス自動取得」設定項目の「自動取得」を◀▶で選びます。◀▶で「接続」を選び、[決定] を押します。



- 3 しばらくすると接続成功が表示されます。[決定] を押して設定終了です。



設定失敗のとき



※設定に失敗しました。ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。1ページをご参照ください。

手動で設定する場合

- 以上手順①では、IPアドレスの自動取得ができない場合、手動入力で設定します。
- 必要に応じて設定してください。

- 1 ▲▲▶で「IPアドレス」を選び、[1~10/0] 数字ボタンで番号を入力します。

- 2 そのほかの項目も同様に、[1~10/0] 数字ボタンで番号を入力します。入力したら▲▼▶で「接続」を選び、[決定] を押して設定を終了します。



- 必要に応じて設定してください。
- ① ▲▶で「手動入力」を選びます。
- ② ▲▶で「IPアドレス」を選び、1~10(0)を入力します。
- ③ ▲▶で「サブネットマスク」を選び、1~10(0)を入力します。
- ④ ▲▶で「ゲートウェイ」を選び、1~10(0)の範囲を入力します。
- ⑤ ②~④では0~255の範囲の数字(左端の0は必須)を画面下部の欄に入力します。
- 肩を移動するには、▶を押します。

IPアドレス設定

- インターネットに接続するために、本機に自動的に割り当てられる固有の番号を設定します。

DNS設定

- ドメイン名を自動的にIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。
- ※ 「IPアドレス自動取得」で「しない」を設定した場合、「DNSアドレス自動取得」も自動的に「しない」に設定され、「する」に変更するときは出来ません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定してください。

MACアドレス

- ネットワーク上に接続されている機器を識別するために本機に割り当てられた固有の番号です。
- MACアドレスの確認が終わったら、[決定/戻る] を押しメニュー画面を終了してください。

ネット情報表示

現在使用のネット情報を表示します。

- 1 [メニュー] を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、[決定] を押します。同様に▲▼と[決定] で、「ネット設定」⇒「ネット情報表示」の順に進みます。

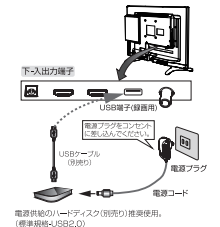


ハードディスクの接続と設定

接続のしかた

ハードディスクのUSBケーブルを本製品の前面端子にあるUSB端子へ接続します。接続後にハードディスクの電源が入っていることを確認してください。

- 本機に接続した録画用ハードディスク(別売り)で、地上デジタル放送の録画や録画予約ができます。



お知らせ

- 本機に接続できる推奨USBハードディスクの最大容量は3TBです。
- 本機に接続できる推奨USBハードディスクについては、59ページをご覧ください。

ご注意

- USBハードディスクと本機の接続には、USBケーブルを直接接続してください。(登録は、最大8台まで)
- USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、USBハードディスクを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因となります。
- PCなどで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、PC/パソコンなどで保存していたデータはすべて消去されます。
- 本機に接続し初期化登録を行ったUSBハードディスクは本機以外のテレビやパソコンなどは利用できません。※同一型番、同一製品でも再生できません。※HDDを使用して接続しないでください。

新しいハードディスク登録と初期化

未登録のUSBハードディスクを初めて接続した際は、USBハードディスクの初期化が必要です。初期化されていないUSBハードディスクを接続した場合は、録画や録画予約ができません。

1 新規登録の場合

- 1 新しいハードディスクを接続するときは、初期化の確認画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選び、[決定] を押します。

→初期化と登録の処理が始まります。



※初期化中は、「ハードディスク初期化中」文字が点滅表示。※新規登録の場合は、「ハードディスク初期化中」が表示されます。初期化中は、電源を切らないようご注意ください。



- 2 初期化が完了しました。録画機器を設定する確認画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選び、[決定] を押します。

3 登録結果のリスト内

音を確認し、[戻る] を押します。

- 本機で登録したハードディスクを再登録した場合、自動的に認識します。(録画に時期がかかる場合があります。)



USBハードディスクの設定をする

登録したUSBハードディスクの設定変更、取り外しのための設定及び初期化などができます。USBハードディスクを接続し自動認識すると、容量の登録画面が表示されます。必要に応じて以下の設定をします。

1 機器の登録をするとき

- 1 ハードディスクを登録するときは、[メニュー] を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、[決定] を押し、▲▼と[決定] で、「ハードディスク」⇒「機器の登録」の順に進みます。



ハードディスクの接続と設定(つづき)

- 2 登録リストの画面が表示されたら、▲▼で登録したいハードディスクを選び、[録]を押します。

ハードディスクの接続状態



- 3 初期化の確認画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選び、[決定]を押します。

◀初期化と登録の処理が知られます。



- 4 初期化が完了しました。録画機器を設定する確認画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選び、[決定]を押します。



新規登録の場合



再登録の場合は、再登録の確認画面が表示されます。

- 5 登録結果のリスト内容を確認し、[戻る]を押します。

- 本機で登録したハードディスクを再度接続した場合、自動的に認識します。(認識に時間がかかる場合があります。)



注意

修理などで、本機内部のハードディスク登録情報部が壊れる部品を交換した場合や、本機本体を交換した場合は、それまでを使用していたハードディスクは未登録(新しいハードディスク)として認識され、初期化して使用するようになります。初期化の際は、録画内容はすべて消去されます。

登録を解除するとき

- 1 登録リストの画面が表示されたら、▲▼で登録を解除するハードディスクを選び、[赤] (登録解除) を押します。



- 2 解除の確認画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選び、[決定]を押します。



- 3 確認画面が表示されたら、[決定]を押します。



- 4 終わったら、登録結果の内容を確認し、[戻る]を押します。



- 機器の登録リストより解除する機器を選んで[赤]を押すと、登録解除できます。一度解除した機器を再度登録する場合、初期設定は必要ありません。
- 新規登録されたハードディスクは、再度登録した場合、その中のファイルもそのまま残った状態で表示されます。
- 予約が設定されているUSB/ハードディスクは、再登録を促すメッセージ付きの登録解除確認画面が表示されます。

録画機器を選択する

機器の登録リストからハードディスクを選びます。

- 1 [メニュー]を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、[決定]を押します。▲▼と[決定]で、「ハードディスク」⇨「録画機器選択」の順に進みます。



- 2 選択したい機器を▲▼で選び、[決定]を押します。



- これで設定完了です。選択したUSB/ハードディスクのタイトルの上に★アイコンが表示されます。

ハードディスクの接続と設定(つづき)

ハードディスクの情報表示

- 1 [メニュー]を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、[決定]を押します。▲▼と[決定]で、「ハードディスク」⇨「情報表示」の順に進みます。



- 2 表示する機器を▲▼で選び、[決定]を押します。



- 3 情報内容を確認し、[戻る]を押します。



機器の取りはずし

本機に接続したUSBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜くときは、以下の操作をします。

- 1 [メニュー]を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、[決定]を押します。▲▼と[決定]で、「ハードディスク」⇨「ディスク取り外し」の順に進みます。



- 2 取りはずす機器を▲▼で選び、[決定]を押します。



- 3 確認画面で、◀▶で「取り外し」を選び、[決定]を押します。



- 4 [決定]を押し、取り外しの設定を終了します。

お知らせ

本機に一度登録してから取りはずしたUSBハードディスクは、再度接続したとき自動的に認識しますので、録画した番組を消去することなく登録できます。

注意

本機に接続したUSBハードディスクは、必ず上記の操作により安全に取りはずしてください。安全に取りはずしをしなかった場合、次回電源を入れたとき、ハードディスクの認識に数分かったり、ハードディスクを認識できなくなったりする可能性があります。また、本機の動作が不安定になる場合があります。

テレビを見る

基本的な使いかた

リモコン

電源を入れる

「電源」ランプ表示が赤色に点灯しているときは待機状態です。リモコンの【電源】または本体の背部電源ボタンを押します。

- 電源が「入」になり、「電源」ランプ表示が赤色に点灯します。
- 内部処理を行っているため、画面表示するまで若干時間がかかる場合があります。

電源を切ります(電源を待機にする)

電源が「入」のとき、リモコンの【電源】を押します。

- 表示が「待機」(リモコン操作待機状態)になり、「電源」ランプ表示が赤色に点灯します。
- リモコンで電源を入れることができます。(ほかのリモコンでの操作はできません。)
- 長期間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

見たい番組を選ぶ

1 【地デジ】を押し、地上デジタル放送に切り換えられます。

- 今見ている放送と同じ種類の入力を見る場合は、この操作は不要です。
- 本体の背部入力切換ボタンでも入力の種類が切り換えられます。【入力切換】を押すたびに、入力の種類が順に切り換わります。

テレビ操作部

2 チャンネルを変更します。(選局する)

- ⇒以下の3とおりの選局方法があります。
- ⇒ワンタッチ選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)
- ⇒ワンタッチ選局ボタン1~2で選局します。(下記の「お知らせ」をご覧ください。)
- ⇒チャンネル▲▼ボタンで選局する(順次選局)
- ⇒リモコンのチャンネル▲▼ボタンまたは本体の背部チャンネル+/-ボタンでチャンネルが順に切り換わります。
- ⇒チャンネル番号を入力して選局する(3桁入力での選局)
- ⇒デジタル放送の場合にこの方法で選局できます。
- ⇒デジタル放送のチャンネル番号は番組表で確認できます。(※3桁入力の操作方法は、19ページをご参照)

音量を調節します/消音

⇒リモコンの【音量+/-】または本体の背部【音量+/-】ボタンを押します。

- ⇒リモコンの【消音】または本体の背部【消音】ボタンを押します。
- 画面の下に「消音」が表示されます。再度【消音】ボタンを押す、または音量調節ボタンを押すと消音が聞こえるようになります。
- 音量は0~50の範囲で調節できます。

字幕を表示させる

リモコンの【字幕】を押し、字幕が表示されます。(詳しくは、19ページをご参照)

お知らせ

- 1~12でワンタッチ選局ができるのは以下のおとりです。
 - ⇒【地デジ】を押したとき→「みんな設定」で各ボタンに登録されたチャンネル。
 - 番組表でデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表を確認することができます。
 - 番組のついた放送→地上デジタル放送で隣接チャンネルの同じチャンネル番号の放送を複数放送できたときに表示されます。
 - 順次選局の順番は、放送の運用規定に従います。(番号順にならない場合があります)
 - お買い上げ直後や、お買い上げ時の設定に戻した直後は、チャンネル番号入力での選局ができませんとことがあります。

基本的な使いかた

3桁入力での選局

リモコンの1~10の数字ボタンでチャンネル番号を入力します。

1 【3桁入力】を押し、チャンネル番号の入力画面が表示されます。

2 【1~10/0】でチャンネル番号を入力します。

⇒チャンネルを直接的に選局することができます。

例:チャンネル「023」を選ぶとき

地デジ 000 01 02 03 枝番

●チャンネルの「023」を選局すると、数字ボタン【10/0】→【2】→【3】を順に押す。

●ボタンは3秒以内に次のボタンを押してください。

●入力した番号を消すには、◀を押します。

※デジタル放送ではいくつかのチャンネル番号と枝番がある番組があります。必要に応じて枝番に(1~10/0)を入力してください。

字幕表示

字幕切り換えで「字幕オン」に設定すると、字幕放送に合ったときに字幕が表示されます。お買い上げ時は、「字幕オン」に設定されています。字幕放送の際は、番組表に「字幕」のアイコンが表示されます。(一部、表示と実際の放送が一致しない場合があります。)

1 【字幕】を押すたびに以下のように切り換わります。

字幕オフ→第一言語 字幕オフ→第一言語→第二言語

※字幕放送時のみ表示されます。

※外部入力(DVDプレーヤー等)の字幕切り換えはできません。

※設定内容は「第1言語」「第2言語」と表示していますが、実際の画面表示は異なることがあります。

※「字幕設定」について詳しくは40ページをご覧ください。

外部入力画面切換

本体背面の外部入力端子に接続したDVDプレーヤーやビデオデッキなどの使用例に入力切り換えを行います。

1 【入力切換】または本体の入力切換ボタンを押すたびに外部入力切り換わります。

■入力切換を繰り返し押すか、または▲▼を押して入力を選びます。

リモコンの入力切換ボタンを押すたびに下記の順のように切り換わります。

地デジ → DVD → ビデオ

HDMI 2 → HDMI 1

画面左上

※切り換えたい入力を選択後に【決定】を押します。

※入力切換ボタンを押し「入力切換」の一覧を表示させると、方向ボタンの▲ボタンでも切り換えることができます。

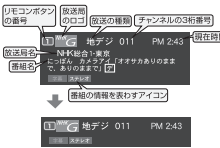
地デジ放送に切り換える

1 外部入力視聴中に【地デジ】を押すと、地デジの放送を視聴することができます。

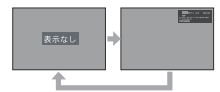
チャンネル情報を見る

現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。(チャンネル以外の表示は数秒後に消えます)

- 1 視聴中に【画面表示】を押すと、画面にチャンネル情報等が表示されます。
- 2 【画面表示】を消すには、もう一度【画面表示】を押します。
- 選局時には一部消滅された状態で表示されます。

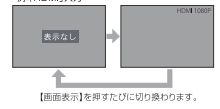


※しばらくすると、下部の表示(放送局名、番組名)が消えて上部の表示だけになります。



【画面表示】を押すたびに切り換わります。

●入力切換時は外部入力の名前を表示します。



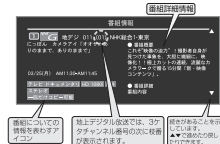
はじめて 準備と接続 テレビを見る 録画予約再生 外部機器と接続 設定と調整 DVD その他

はじめて 準備と接続 テレビを見る 録画予約再生 外部機器と接続 設定と調整 DVD その他

デジタル放送の便利な機能を使う

番組情報を見る

- 1 視聴中に「番組情報」を押すと、番組詳細情報が表示されます。



- 2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押します。

- 情報取得できなかったり、情報がなかったりした場合は、「詳細情報を取得できません」と表示されます。

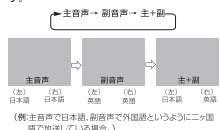
- 3 説明画面を消すには、「番組情報」または「戻る」を押します。

- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限される場合があります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

他の音声切換

- 音声多重番組で聴きたい音声を選択する
- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主副音声を切り換えることができます。
- 番組情報画面に「音声切換」のアイコンが表示されます。

- 1 「音声切換」を押すたびに以下のように切り換わります。



- 音声多重放送には二言語やマルチ音声などがありますが、放送内容によっては表示が異なることがあり、上段と異なることがあります。

■ 音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声番号を切り換えることができます。
- 番組情報画面にその情報のアイコンが表示されます。

- 1 「音声切換」を押すたびに以下のように切り換わります。



- 遠隔操作をすると、音声切換で選択した状態は取り消されます。(基本の番号を選択した状態になります)
- 映像の切り換えと同時に音声も切り換わる場合があります。

- ステレオやモノラルで放送されている場合には音声切換できない場合があります。

放送音声	音声表示内容
音声多重音	主
副音	副
	主+副
モノラル	(音声1)モノラル
ステレオ	(音声2)ステレオ

自動で電源を切れるようにする

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

- 1 「オフタイマー」を押す。設定を切り換えることで、設定した時間経過後に電源を切る(待機状態にすることができま。

【オフタイマー】を押すたびに、設定時間がつづきのように切り換わります。

切→30分→1時間→1時間30分→2時間

画面表示:

オフタイマー: 残り 1時間0分

- 2 再度「オフタイマー」を押すことで再設定ができます。

- 設定した時刻になる前に、電源を切ったりすると、設定が取り消れます。

暗証番号を設定する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするときには必要です。暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更/削除および「設定リセット」をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

- 1 「メニュー」を押し、▲▼で「各種設定」を選択し、「決定」を押します。▲▼と「決定」で、「個人情報」⇒「暗証番号設定」の順に進みます。

⇒暗証番号の入力画面が表示されます。

- 2 [1~10]で暗証番号を入力します。以下操作方は40ページの「視聴年齢制限」の手順2~4と同じです。(40ページをご覧ください。)

デジタル放送の便利な機能を使う(つづき)

番組の視聴を制限する

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要となります。
- お買い上げ時は、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定してください。

- 1 「メニュー」を押し、▲▼で「各種設定」を選択し、「決定」を押します。同様に▲▼と「決定」で、「個人情報」⇒「視聴年齢制限設定」の順に進みます。

⇒番組番号の入力画面が表示されます。

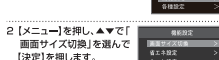
- 2 [1~10]で暗証番号を入力します。以下操作方は40ページの「視聴年齢制限」の手順2~4と同じです。(40ページをご覧ください。)

画面サイズを切り換える

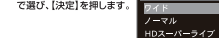
- 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

■ 設定メニューで「画面サイズ」を切り換える

- 1 「メニュー」を押し、▲▼で「機能設定」を選んで「決定」を押します。

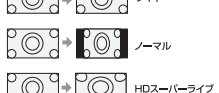


- 2 「メニュー」を押し、▲▼で「画面サイズ切換」を選んで「決定」を押します。



- 3 お好みの画面サイズを▲▼で選び、「決定」を押します。

例 地上デジタル放送の16:9映像のとき



お知らせ

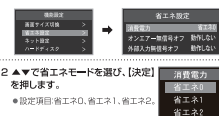
- テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるものを選択すると、本来の映像とは見かたが異なります。
- 本機にHDMI端子のあるパソコンを接続して、Dot by Dotに対応しておりません。適正解像度でも音にじんだ表示になる場合があります。
- 外部入力の画面に合わせて切り換えてください。

省エネ設定

- 液晶画面のバックライトの明るさをおさえることでテレビの節電ができます。「省エネ1」「省エネ2」および「省エネ3」に切り換える場合、画面の明るさに適した画質に自動調整されます。

■ 設定メニューで「省エネ設定」を切り換える

- 1 「メニュー」を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、「決定」を押します。同様に▲▼と「決定」で、「省エネ設定」⇒「消費電力」の順に進みます。



- 2 ▲▼で省エネモードを選び、「決定」を押します。

- 設定項目 省エネ0、省エネ1、省エネ2。

- ※省エネ1: バックライトの明るさを抑え、バックライトの消費電力を約15%~20%節約することができます。

- ※省エネ2: バックライトの明るさを更に抑え、バックライトの消費電力を約35%~40%節約することができます。

- ※省エネ3: 明るさや画面が暗くなったり音声が悪くなることもあります。気になる方は「省エネ0」(オフ)に設定してください。

- ※その他の節電機能設定は38ページをご参照ください。

データ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送ではテレビ放送以外にデータ放送の機能があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組関連のデータや、番組案内、天気予報、ニュースなどの放送があります。

連動データ放送を楽しむ

一部の番組には番組連動データ放送があり、双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加することができます。

※テレビ放送チャンネルで番組案内や天気予報、ニュースなどのデータ放送を提供している場合があります。

1 デジタル放送の番組視聴中に [dデータ] を押すと、番組連動データ放送画面が表示されます。

⇒リモコンのカラーボタン【青、赤、緑、黄】で、データ放送画面内の色々な情報を選んで閲覧することができます。画面に表示された色と同じリモコンのカラーボタンを選択します。

⇒番組によっては押す必要がない場合があります。
⇒各放送局からのデータ放送画面内容はそれぞれ異なりますので、画面に表示されている操作方法に従って操作してください。

例



2 データ放送を終了するには、もう一度 [dデータ] を押します。

お知らせ

双方向サービスについて

- 双方向サービスをご利用される場合、あらかじめインターネットの接続と設定を行ってください。
- 双方向サービスのご利用には登録の申し込みが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、ご利用者の個人情報を入力を要求する場合がありますが、接続のサイトによってはSSLなどのセキュリティ対策がない場合がありますので、ご注意ください。
- 双方向サービスをご利用時、通信がすぐにはできません。次の操作まで時間がかかることがあります。
- テレビ作動中は電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスで、お客様のポイント情報等更新できないことがあります。

デジタル放送の双方向サービスについて

※インターネットや電話回線を利用して放送局との間で双方向に通信できるサービスです。ショッピング番組で買い物したり、クイズ番組でクイズに参加して回答したりできます。(本機では電話回線を利用した双方向サービスは対応していません)

※地上デジタル放送の双方向サービスには番組に連動した通信サービスと番組とは関係のない通信サービスがあります。

番組表を使う

番組表の見かた

⇒デジタル放送を視聴中にリモコンの【番組表】を押すと、番組表が表示されます。

⇒▲▼◀▶で番組を選択できます。

番組表画面(7チャンネル/4時間分の表示の例)

⇒7チャンネル/4時間分の表示のされ方。▲▼で時間帯が移動します。◀▶でほかのチャンネルに移動します。

リモコンボタンの番号	チャンネルの3桁番号	放送の種類	放送局のロゴ	現在の日時	放送局名
011	011	011	011	011	011
012	012	012	012	012	012
013	013	013	013	013	013
014	014	014	014	014	014
015	015	015	015	015	015
016	016	016	016	016	016
017	017	017	017	017	017
018	018	018	018	018	018
019	019	019	019	019	019
020	020	020	020	020	020

● 番組表や操作画面などには、そのときに使用できるリモコンボタンの操作ガイドが表示されます。

お知らせ

- 番組表に表示できる番組情報は最大7日分です。
- 「チャンネルスワップ設定」で「スワップ」に設定したチャンネルの番組表は表示されません。
- 録画予約は番組表に予約アイコンが表示されますが、日時指定予約をした場合は、表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。

見たい番組を見る

1【番組表】を押して、番組表を表示させます。

2 現在放送中の番組を▲▼で選びます。

● 番組表に表示されていないチャンネルを表示させるには、◀▶で操作します。

3【決定】を押す、「番組指定録画」画面が表示されます。



● データ放送の番組を選んだ場合は、そのチャンネルに切り換わります。

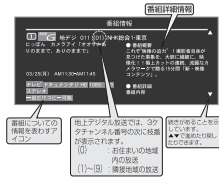
4 ▲▼▶▶で「見る」を選び、【決定】を押します。

⇒選んだ番組の放送画面になります。

番組表で番組説明を見る

● 選択した番組の情報を確認することができます。

1 番組表の表示中に【番組情報】を押すと、番組説明が表示されます。



2 説明画面を消すには、【戻る】を押します。

番組表を便利に使う

■(青、赤、緑、黄)カラーボタンや番組表のメニューで、さまざまな機能を使用することができます。

- 前日の番組表を表示します。
- 翌日の番組表を表示します。
- 番組検索ができます。
- 録画・視聴予約リストを表示することができます。
- メニュー 番組表のメニューを表示させる。

お知らせ

- ※デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- ※デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができ、現在から最大7日先までの放送予定を確認できます。

予約リストに切り換える

- 1 番組表の表示中に[黄]を押す、[決定]を押すと予約リストが表示されます。



⇒予約リスト画面が表示されます。

※「予約確認/取り消し」については、31ページをご覧ください。

番組表のメニュー

- 1 番組表の表示中に[メニュー]を押すと番組表のメニューが表示されます。
- 2 ▲▼で設定項目を選び、[決定]を押して設定します。

▲▼ 移動 決定 実行
戻る 前画面

文字サイズ変更

●番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに以下の操作をします。

- 1 番組表の表示中に[メニュー]を押す、▲▼で「表示列数/文字サイズ」を選んで[決定]を押します。
 - 2 お好みの文字サイズを▲▼で選び、[決定]を押します。
- 設定項目：7列/文字サイズ、小 5列/文字サイズ、大

▲▼ 移動 決定 実行
戻る 前画面

番組表示時間設定

●番組表の表示時間を設定します。

- 1 番組表の表示中に[メニュー]を押す、▲▼で「表示時間数設定」を選んで[決定]を押します。
 - 2 お好みの表示時間数を▲▼で選び、[決定]を押します。
- 設定項目：4時間表示 6時間表示

▲▼ 移動 決定 実行
戻る 前画面

テレビ/データ/ラジオ切換

●番組表の放送メディアを切り換えることができます。

- 番組表に表示させる放送メディア(ラジオ、テレビ、独立データ)を選びます。

テレビ/データ/ラジオ

- 1 番組表の表示中に[メニュー]を押す、▲▼で「テレビ/データ/ラジオ」を選んで[決定]を押します。
 - 2 ▲▼で「テレビ」/「データ」/「ラジオ」を選んで[決定]を押します。
- 設定項目：テレビ、データ、ラジオ。
- 「ラジオ」は、ラジオ放送が運用されている場合に選択できます。

▲▼ 移動 決定 実行
戻る 前画面

番組表を便利に使う(つづき)

チャンネル表示

●地上デジタル放送では、放送局(放送事業者)この代表チャンネル表示(1チャンネル表示)とマルチチャンネル表示(マルチ表示)の切替えができます。



●番組表を表示中に1)チャンネル表示とマルチ表示を切り換えます。



ジャンル別色分けする

- 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

- 1 番組表の表示中に[メニュー]を押す、▲▼で「ジャンル色分け」を選んで[決定]を押します。
 - 2 指定するジャンルを▲▼で一つ選び、[決定]を押します。
 - 3 [決定]を押すたびに、選んだジャンルのチェックボックス☑と□が交互に切り替わります。
 - 設定するジャンルにチェックマーク☑をつけます。設定するすべてのジャンルにチェックマークを付けてください。
 - 設定を解除すると色分け表示がなくなります。
- 4 設定完了後[戻る]を押します。

※色分け設定をしたジャンルに該当する番組は、番組表と背景が設定した色になります。

番組検索

ジャンルを絞りこんで番組を探す

番組のジャンル(分野)を指定して見たい番組を探すことができます。

※ジャンルは、スポーツ/ドラマ、音楽などのような、番組の分野のことです。

- 1 番組表の表示中に[緑]を押すと「番組検索」画面が表示されます。
- 2 指定するジャンルを▲▼で一つを選び、[決定]を押して検索が始まります。



- 3 「番組検索結果」画面から見たい番組を▲▼で選び、[決定]を押します。



⇒「番組指定画面」画面が表示されます。

- 4 ◀▶で「見る」を選び、[決定]を押します。
- ⇒選んだ番組の放送画面になります。



※こちらから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。

録画・予約機能について

- 本機は「シングルチューナー」を搭載しています。現在視聴している番組とは違う番組を録画することはできません。
- 予約 最大32番組の録画予約が可能です。
- 1つのハードディスク(HDD)には約500件録画番組の録画が可能です。
- 録画時間の目安(例)500GBのHDD 地デジ約53時間。
※番組のデータ量によって録画可能時間は変わります。
- 本製品で使用できるHDDの容量は3TBまでです。
- ※データ転送方法が2013年現在の規格から変更されたHDDでは使用できない場合があります。
- 何らかの理由(主電源が切れた、電波が途切れた等)で録画が中断した場合には、データが破損してしまい、再生できない場合があります。[メール表示]で録画関連のエラーの録画(最大14件まで保存)も届きますのでご確認ください。(P40参照)
- コピー禁止の番組や、ラジオ放送番組、ビデオ/HDMIなど外部入力の映像・音声などを記録することはできません。本機で受信したデジタル放送番組のみです。
- 本製品で録画したデータは、パソコンや他のテレビなどで使用や視聴はできません。
- 番組表は約7日後まで取得できます。これ以上先の録画予約はできません。
- 同じ時間帯に重複した録画をすることはできません。
- 本機へ接続して使用するUSBで接続するハードディスク(HDD)に録画する際は、事前に試し録画をして正しい録画できることを確かめてください。
- 著作権保護のため本機で録画した番組(以下録画データ)は移動(ムーブ)や複製(コピー)をすることはできません。本機で録画した番組は、本機でのみ視聴することができます。同機種でも視聴できません。
- 本機の故障などの理由により修理や交換をした場合には、すでに録画していた録画データが視聴できなくなります。あらかじめご了承ください。
- 視聴予約をした番組の開始時刻になると、予約した番組のチャンネルに自動的に切り換わります。「特機」になっている場合は、自動的に電源が入ります。
- 本機を購入されたお客様が録画した番組については、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外には、著作権法上権利者に無断では使用できません。録画したものを個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲で楽しむ以外に権利者の許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。

録画した番組を自分のホームページに載せる。

録画した番組をメールなどで他人へ送る。

録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸す。

- 著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。

USBハードディスクについて

接続、設定と録画前の準備

- 外付けUSBハードディスクの接続と登録設定は、15ページをご覧ください。
- ハードディスク(HDD)に録画する際は、事前に試し録画をして正しい録画できることを確かめてください。
- 本機で接続確認済みの機器以外では、使用できないことがあります。(対応している機器については、59ページをご覧ください)
- USBハードディスクの電源を入れておきます。
- USBハードディスクの使用領域(%)を確認します。
- 録画リストで録画番組数を確認します。
- ※録画不足や番組数超過(500を超過)になりそうな場合は、不要な番組を削除します。

録画・予約の種類

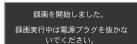
録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する(今すぐ録画する)	27ページ
番組表で録画・予約をする(番組指定録画・予約)	28ページ
番組を検索して録画・予約をする(番組検索録画・予約)	29ページ
日時を指定して録画・予約をする(日時指定予約)	30ページ

見ている番組を直接録画する

現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

《現在視聴中の番組を直接録画する》

- デジタル放送を見ているときに[録画]を押します。
⇒録画メッセージが画面表示され、録画が始まります。



設定情報が送られ、しばらくすると録画が開始されます。

録画中に[画面表示]を押します。

※下記番組情報の画面上部メッセージが表示されます。



録画中表示

- ※[画面表示]を押すと表示が消えます。
- ※電源ランプが点灯している時は、録画中です。

《番組内容を確認して録画する》

- デジタル放送中に[番組表]を押します。
⇒番組表が表示されます。
- 現在放送中の番組から録画したい番組を▲▼▶で選び、[決定]を押します。
⇒[番組指定録画]が表示されます。



- ▶で「録画する」を選び、[決定]を押します。

お知らせ

- ※録画中はコンソントを抜かないでください。録画に失敗し、録画したい番組の録画が消えてしまいます。また既に録画した部分の保存もできません。
- ※録画中はハードディスクの接続ケーブルを抜かないでください。録画に失敗し、録画したい番組の録画が消えてしまいます。また、既に録画した部分の保存もできません。
- ※録画中は数字ボタン、3ケタの数字入力及びチャンネル▲▼ボタンでのチャンネル切り換えなど、他のチャンネルの番組が視聴はできません。

録画停止

録画を途中でやめるとき、以下の操作をします。ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。(録画予約での録画中の場合も同様です。)

- 録画中に[停止]を押します。
⇒録画停止の確認メッセージが画面表示されます。
- ▶で「はい」を選択し、[決定]を押すと、その時点までの録画がハードディスクに保存されます。
⇒録画が停止します。



番組表で録画/視聴予約をする

1 デジタル放送中に【番組表】を押します。

⇒番組表が表示されます。

2 これから放送される番組を▲▼◀▶で選び、【決定】を押します。

⇒「番組指定予約」が表示されます。



- 視聴予約—指定した番組の視聴を予約します。
- 録画予約—指定した番組の録画を予約します。
- 日時指定予約—予約する日、開始時刻、終了時刻を設定します。

以下の設定項目を変更するとき

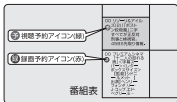
- 「日時指定予約」を選択した場合
※日時指定予約設定メニューへ移動します。
①▲▼◀▶で「日時指定予約」を選び、【決定】を押します。
②設定する項目を◀▶で選び、▲▶で日時を設定します。
③「日時指定予約」と同じ操作方法で設定します。
⇒メッセージに従って操作をすると、「日時を指定して録画/予約をする。」(30ページ)と同じ操作方法で設定します。

3 ◀▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、【決定】を押します。

4 「予約を設定しました」のメッセージが表示されたら、【決定】を押して視聴/録画予約設定完了。

予約を設定しました。

【決定】



※これで録画予約は完了です。番組表に視聴/録画予約アイコンが表示されます。

※カーソルのある番組(選択中の番組)は「黄色」で表示されます。

※番組表中には2分間でテレビ視聴画面に戻ります。

マルチ表示の番組表で予約するとき

「マルチ表示の番組表で予約」

- 一つの放送局で別の番組を放送している場合があります。その番組を予約するには番組を「マルチ表示」に切り替えます。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいるときは、どちらでも予約できます。

お知らせ

- 視聴予約番組を選んで録画予約などした場合メッセージが表示されます。「はい」を選択し録画/予約入力画面が表示されます。録画番号を入力すると、視聴制限が一時的に解除になります。
- 地上デジタル放送で番組編成の変更があった場合、予約どおりに作動しないときがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約の確立や取消しについては、31ページをご覧ください。
- 本機の電源が切れる状態(スタンバイ)のときでも視聴予約時間になると電源が入りテレビが視聴できます。
- 録画予約した時間帯は番組表にも色々の帯で表示されます。
- 予約した番組が放送時間近くなる場合メッセージが表示されます。

録画予約ができない場合

メッセージが表示された場合

録画予約の時間帯が重複しているため、録画予約できません。

【決定】

下記の場合には予約録画ができません。

- 予約時間が重複している場合。
- 録画時間がハードディスクの容量を超える場合。
- 短い番組(約1〜3分以下の番組)。
- 受信レベルが低下している場合。
- 録画予約番組の放送時間が変更になった場合。
- 前の録画されている番組が延長した場合。
- 予約開始時に録画設定した記録ハードディスクが接続されていない場合。
- テレビ本体の主電源が切れている場合。

番組検索で録画・予約をする

番組のジャンル(分野)を指定して録画したい番組を探すことができます。

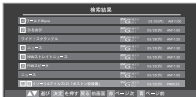
1 番組表の表示中に【録】を押すと、「番組検索」画面が表示されます。

2 指定するジャンルを▲▼◀▶で一つ選び、【決定】を押すと検索が始まります。



⇒「番組検索結果」が表示されます。

3 これから放送される番組を▲▼で選び、【決定】を押します。



⇒「番組指定予約」が表示されます。

4 ◀▶で「視聴予約」または「録画予約」/「日時指定予約」を選び、【決定】を押します。



5 「予約を設定しました」のメッセージが表示されたら、【決定】を押して視聴/録画予約設定完了。

予約を設定しました。

【決定】

- 放送中の番組を選んで、「録画する」を選択した場合は、録画が始まります。
- 放送予定の番組を選んで予約した場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。他の番組の予約を続けることができます。

日時を指定して録画・予約をする

毎日、毎週連続して予約することができます。

- 1 【番組表】を押し、▲▼◀▶で指定したいチャンネルの番組を選び、【決定】を押します。



⇒「番組指定録画/予約」画面が表示されます。

- 2 必要に応じて予約リストを設定する。

- 1 【予約リスト】を押します。
⇒予約リストが表示されます。
● 番組表を表示中に【真】を押すと予約リストが表示されます。
- 2 ▲▼で予約設定したい番組を選び、【決定】を押します。



⇒「予約確認/取り消し」が表示されます。



⇒「日時指定予約解除/取り消し」が表示されます。

- 3 ▲▼◀▶で「日時指定予約」を選び、【決定】を押します。⇒日時指定予約画面が表示されます。

- 4 視聴/録画予約の日時を設定します。



- 1 設定する項目を◀▶で選び、▲▼で日時を設定します。
- 2 4週間先まで指定できます。
- 3 特定の日のほか、「毎日」、「毎週(月)〜毎週(日)」、「月〜金」、「月〜土」、「火〜土」などの繰り返し録画も選べます。

- 4 設定できる時間は最大23時間59分です。

● 設定が終わったら、【決定】を押します。

※視聴予約の終了時刻を設定する場合は、この操作は不要です。

- 4 【予約を設定しました】のメッセージが表示されたら、【決定】を押して視聴/録画予約設定完了。



※録画予約開始時刻/終了時刻を設定する場合は、同時刻間隔は別の番組予約ができません。

予約の確認・取消しをする

- 視聴/録画予約した内容の確認、取り消すことができます。
- 録画予約設定や日時指定予約設定の変更をすることができます。

予約の確認・変更・取消し

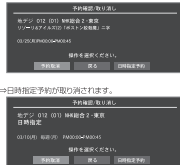
- 1 【予約リスト】を押します。
⇒予約リストが表示されます。
● 番組表を表示中に【真】を押し、【決定】を押すと予約リストが表示されます。
- 2 ▲▼で予約を確認する番組を選び、【決定】を押します。



- 番組表から予約設定した番組を選び、【決定】を押すと、「予約確認/取り消し」が表示されます。

- 3 予約を取り消すときは、◀▶で「予約取消」を選び、【決定】を押します。

⇒録画予約/視聴予約が取り消されます。

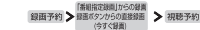


⇒日時指定予約が取り消されます。

- 録画設定を変更するときには、「日時指定予約」の操作をします。

録画予約と視聴予約の優先順位

- 録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、「録画予約」が優先されます。
- 録画予約と他の今すぐ録画や視聴予約が重なった場合、録画予約が優先され、その他の録画や視聴予約は取り消しになります。



- 放送時間に変更された場合、定時に「録画予約」番組が優先されます。

予約した番組の放送時間が変更されたり、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。(予約した番組は取り消しになります。)



- 予約録画中の番組が延長されたら、他の録画予約や録画番組重なった場合、予約録画中の番組が優先されます。

録画予約した番組の放送時間が延長されたり、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。



- 録画予約に設定した予約番組が重なった場合、先の録画予約を優先します。

録画した番組を再生する

本機に接続したUSBハードディスクに録画/保存されている番組を見るには、以下の操作をします。

- 録画中アイコン(赤丸)
 - 未再生の番組 **NEW**
 - リピート再生
 - 保護中のアイコン
- 録画番組のタイトルの横で録画中などの状態アイコンが表示されます。

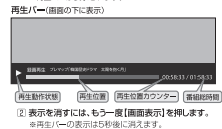


再生の基本操作

- 1 **【録画リスト】**を押します。
録画リストが表示されます。録画リストには、選択している番組の簡単な情報や、録画可能時間、USBハードディスクの使用領域などが表示されます。
- 2 **▲▼で見たい番組を選び、【決定】または【再生/一時停止】**を押します。
● 選んだ番組の再生が始まります。(再生されるまでに時間がかかる場合があります。)
● 番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態なり、しばらくすると録画リストに戻ります。
⇒再生が始まったとき、画面の下に再生バーが表示されます。

再生バーを見る

- 録画した番組再生中に以下の操作をします。
① **録画した番組の再生中に【画面表示】**を押します。
⇒再生バーが表示されます。



再生動作状態の表示

アイコン	意味	アイコン	意味
	再生中		8倍速で早送り中
	一時停止中		16倍速で早送り中
	静止		2倍速で早送り中
	1.3倍速で早送り中 (音声付)		4倍速で早送り中
	2倍速で早送り中		8倍速で早送り中
	4倍速で早送り中		16倍速で早送り中

3 再生を停止させるには、【停止】を押します。

- 録画リストを閉じるときは、**【戻る】**を押します。
● 再生中は(各種メニュー)メニューの操作はできません。
● 再生中は番組表など一部の操作をすることができません。
● 録画中はビデオ/HDメニューなど外部入力への切り換えはできません。

ご注意

- 本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ(同じ形式のテレビも含む)では再生できません。
● 電源を入れた直後はUSBハードディスクの認識に時間がかかることがあります。すでに録画リストが表示されない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度録画リストを開いてください。
● USBハードディスクに録画した番組の再生には、本機やUSBハードディスクの電源を切り(電源落ち含む)、USBケーブルを抜くなどしたります。故障の原因となります。また、USBハードディスクの認識不良、録画番組が消されたとき、本機の動作が不安定になる場合があります。

再生について

① 続きから再生する⇒レジューム再生

- ① **▲▼**で再生する番組を選び、**【決定】**を押します。
⇒前回、再生を途中で停止した場合、続きから再生されます。

② 番組の冒頭から再生する⇒頭出し再生

- ① **▲▼**で再生する番組を選び、**【青】**(頭出し)再生を押します。

③ 録画中の番組を再生する⇒つなげ再生

- ⇒録画が終了するまで待たずに、録画中の番組の冒頭から再生します。
① **▲▼**で録画中の番組を選び、**【決定】**を押します。
● 早見早聞再生では通常の1.3倍速で再生され音声付で視聴できます。
● 録画中の番組は録画リストより視聴することができます。また、1.3倍の速度で早見早聞再生することもできます。早見早聞再生の場合、録画中の30秒前まで遡ると自動で通常の速度に戻ります。

録画した番組を再生する(つづき)

再生時のリモコン操作

下記の各操作ができます。

ボタン	内容
	再生中に一時停止と再生を切り換えます。早戻し/早送り状態から通常再生に戻ります。
	再生を停止します。録画リストに戻ります。
	押すたびにX2→X4→X8→X16倍速で早戻し再生ができます。
	押すたびにX1.3→X2→X4→X8→X16倍速で早送り再生ができます。(※X1.3のみ音声が出ます)
	前の録画データを再生します。
	次の録画データを再生します。

- 早戻し、早送り(X1.3のみ音声が発生します)中に音声は再生されません。
- 再生中に番組先頭まで戻ると再生が再開されます。再生中に番組を最後まで早送りのすると「録画リスト」の画面に戻ります。
- 再生中に「停止」ボタンまたは番組を最後まで再生すると「録画リスト」の画面に戻ります。
- 「録画リスト」画面から通常のテレビ視聴画面に戻る場合は「戻る」を押してください。

録画した番組を保護する

- 録画した番組を誤って削除しないように保護することができます。
● 録画中にこの操作はできません。

1 【録画リスト】を押します。

⇒録画リストが表示されます。

2 録画リストから▲▼で設定する番組を選びます。

3 [メニュー]を押し、サブメニューを表示させます。

4 ▲▼で「保護設定」を選び、【決定】を押します。



5 ▲▼で「オン」を選び、【決定】を押します。



- 選択した番組が保護されます。
- これで設定完了です。タイトルの右側に アイコン表示されます。
- 保護されている録画番組を消すには、保護されている番組を選択してサブメニューから「保護設定」=「オフ」にします。その後、右記の録画した番組を削除するのとおなじ操作をします。

繰返し再生の設定を変える

録画した番組の繰り返し再生(リピート再生)を設定することができます。

- 設定した状態は本機に記憶されます。
 - 選択した一つの番組の再生を繰り返します。
- 1 **【録画リスト】**を押します。
⇒録画リストが表示されます。
 - 2 録画リストから▲▼で設定する番組を選びます。
 - 3 **[メニュー]**を押し、サブメニューを表示させます。
 - 4 ▲▼で「リピート再生」を選び、**【決定】**を押します。
-

- 録画中の番組はリピート再生ができません。
- これで設定完了です。タイトルの右側に アイコン表示されます。
- 選択した番組がリピート再生されます。

録画した番組を削除する

録画番組を消すには、以下の操作をします。

- 1 **【録画リスト】**を押します。
⇒録画リストが表示されます。
- 2 削除する番組を▲▼で選び、**【赤】**(削除)を押します。
- 3 **◀▶**で「はい」を選び、**【決定】**を押します。

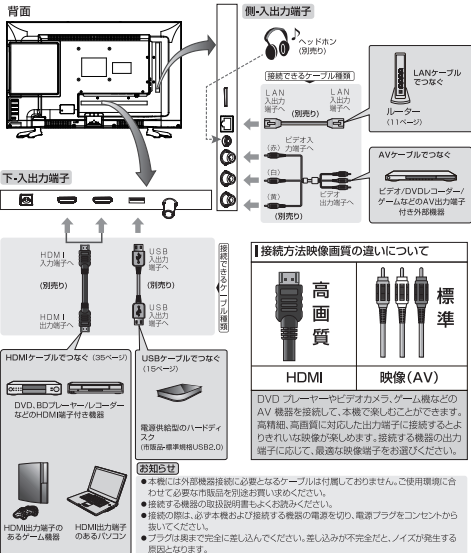


- 録画中の番組は削除ができません。

外部機器と接続

接続のしかた

- 本機に接続できる主な外部機器は以下のとおりです。



※上記記載されているすべての外部機器と本機の組み合わせは動作を保証するものではありません。

※外部入力面切の換えについて詳しくは19ページをご覧ください。

外部機器と接続(つづき)

HDMIケーブルで接続する

- HDMI端子のあるブルーレイ/DVDプレーヤー、ケーブルTVや衛星放送のホームターミナルなどを本機に接続することで、HDMIケーブルを1本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。
- HDMI端子付機器との接続は、HDMI認証済みのケーブルをお使いください。
- HDMI機器との相性により音声が出ない場合があります。
- 当製品のHDMI(バージョンは「1.3」)です。HDMIの標準技術規格に対応した機器をお使いください。
- 当製品のHDMI(バージョンは「1.3」)です。機器間のリンク機能には対応しておりません。

パソコンを接続する

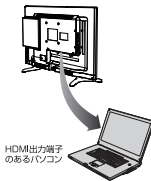
- 本機にHDMI端子のあるパソコンを接続して、本機の液晶画面をパソコンのモニターとして使うことができます。
- HDMI-DVI変換ケーブルを使えば、DVI出力端子付のパソコンを接続することもできます。
- 外部モニターで表示できるようにパソコンを設定してください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ビデオ(AVケーブル)で接続する

- 対応している画像の大きさなど(レシオレーション)は「4:3」です。合わないものについては視聴できないことがあります。

USBハードディスクを接続する

- P26「録画予約について」及び「USBハードディスクについて」をよくお読みになってから接続使用してください。
- 「新しいハードディスクが接続されました」と表示されましたら【メニュー】を押し、「機能設定」の「ハードディスク」の順に進み、各種設定を行ってください。
- 取り外す場合には、必ず「設定メニュー」内にある「機能設定」の「ハードディスクのディスク取り外し」を実行してから取り外してください。



ご注意

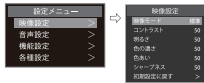
- 接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様をご確認ください。
- Dot by Dotには対応しておりません。画正解像度でも若干にじんだ表示になる場合があります。
- パソコンの画面設定(解像度、高画質)は、パソコンを接続する前に、取扱説明書の仕様を確認し、表示できる設定に変更してください。
- パソコン接続時の表示設定は、自動調整で最良に近い状態に設定されます。

映像設定

お好みの映像を設定する

現在選択されている入力モード(テレビ、ビデオ、HDMI)の映像を、お好みの画質に調整できます。
※お好み調整で設定した調整値は、入力端子ごとに記憶されます。

- 1.【メニュー】を押し、設定メニューが表示されます。
- 2.▲▼で「映像設定」を選び、【決定】を押します。
- 3.▲▼で設定したい項目を選び、【決定】を押します。
⇨◀▶で設定値を調整します。
- 4.設定操作完了したら、【戻る】を押して視聴画面に戻ります。



映像設定項目

⇨お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

設定項目	調整範囲/項目	内容
映像モード	標準、映画、画像、ゲーム、スポーツ、ユーザー	映像モードを切り換えます。(以下の説明をご覧ください。)
コントラスト	コントラスト 50 0 100 (明るさ) 設定値を0(暗い)～100(明るく)	設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。
明るさ	明るさ 50 0 100 (明るさ) 設定値を0(暗い)～100(明るく)	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。
色の濃さ	色の濃さ 50 0 100 (濃さ) 設定値を0(薄)～100(濃)	設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。
色あい	色あい 50 0 100 (色あい) 設定値を0(薄)～100(濃)	設定値が低いと赤っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。(緑の色に注目して、色合いを調整します。)
シャープネス	シャープネス 50 0 100 (シャープ) 設定値を0(ソフト)～100(シャープ)	設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。(映像の鮮明さを調整します。)
初期設定に戻す	はい、いいえ	調整した項目をお買い上げ時の設定に戻します。

※お好みに合わせて調整をしてください。調整した内容は、「ユーザー」として保存され、映像モードで選択をすることができます。
※別述する映像の種類および「映像設定」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。その場合は強く表示され、項目が選択できません。

映像モード設定項目

⇨あらかじめシーンに合わせて映像設定が用意されています。見る映像の種類に応じて、お好みの映像モードを選ぶことができます。

映像モード	設定項目	内容
標準	標準	室内で落ち着いた雰囲気で見るときに適した設定です。くせのない、標準の色合いになります。(日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です)
映画	映画	落ち着いた色合いで、映画などのフィルム映像に適しています。
画像	画像	画像を見るときに適しています。
ゲーム	ゲーム	ゲーム機器を接続したときに最適な映像モードです。
スポーツ	スポーツ	スポーツ観戦を楽しむときに最適な映像モードです。
ユーザー	ユーザー	お好みの映像設定を調整した場合に記憶されます。

音声設定

お好みの音声を設定する

現在選択されている入力モード(テレビ、ビデオ、HDMI)の音声を、お好みの音質に調整できます。
必要に応じて以下の操作をします。

※ お好みに合わせて音質調整をすることができます。
※ ヘッドホンをご利用の場合は、音声調整の設定値は反映されません。

- 1.【メニュー】を押し、設定メニューを表示させます。
- 2.▲▼で「音声設定」を選び、【決定】を押します。
- 3.▲▼で設定したい項目を選び、【決定】を押します。
⇨◀▶で設定範囲を調整します。
- 4.設定操作が完了したら、【戻る】を押して視聴画面に戻ります。



音声設定項目

⇨お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

設定項目	設定範囲/項目	内容
バランス	バランス 0 50 100 (右) 設定範囲: -2.5 (左)～+2.5 (右)	左右スピーカーの音声出力のバランスを調整します。設定値が小さいほど左側を、設定値が大きいほど右側を強調します。
高音	高音 0 0 100 (高音) 設定範囲: -6～+6	設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。
低音	低音 0 0 100 (低音) 設定範囲: -4～+4	設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。
初期設定に戻す	はい、いいえ	調整した項目をお買い上げ時の設定に戻します。

機能設定

⇒デジタル放送を見ているときに便利機能を設定する。

1. [メニュー]を押すと、設定メニューが表示されます。
2. ▲▼で「機能設定」を選び、[決定]を押します。
3. ▲▼で設定したい項目を選び、[決定]を押します。
4. 設定操作が完了したら、[戻る]を押すと視聴画面に戻ります。



画面サイズ切換

視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

- 1 「機能設定」メニューで「画面サイズ切換」メニューで「画面サイズ切換」を選び、[決定]を押します。

⇒「画面サイズ切換」画面が表示されます。



- 2 「画面サイズ切換」メニューで設定したい画面サイズを選び、[決定]を押します。

※画面サイズ切換について詳しくは21ページをご覧ください。

省エネ設定

省エネ設定を行います。

- 1 「機能設定」メニューで「省エネ設定」を選び、[決定]を押します。

⇒「省エネ設定」画面が表示されます。



- 2 「省エネ設定」メニューで設定したい項目を選び、[決定]を押します。

設定項目:

消費電力

バックライトの明るさを省エネ0(明)～省エネ2(暗)に設定することで消費電力を約5～10%低減することができます。



※消費電力設定について詳しくは21ページをご覧ください。

外部入力無信号オフ

放送受信時に無信号状態が続いた場合、電源を切って待機状態にするか否かを設定します。「動作しない」、5分、10分、15分、30分」から選択します。



外部入力無信号オフ

外部入力放送時に無信号状態が続いた場合、電源を切って待機状態にするか否かを設定します。「動作しない」、5分、10分、15分、30分」から選択します。



ネット設定

ネット設定ではインターネットの設定を行います。

- 1 「機能設定」メニューで「ネット設定」を選び、[決定]を押します。

⇒「ネット設定」画面が表示されます。



- 2 「ネット設定」メニューで設定したい項目を選び、[決定]を押します。

設定項目: ネット情報表示、有線LAN。
※ネット設定について詳しくは14ページをご覧ください。

ハードディスク

本機にUSBハードディスクを初めて接続するときに、初期化と登録を行います。

- 1 「機能設定」メニューで「ハードディスク」を選び、[決定]を押します。

⇒「ハードディスク」画面が表示されます。



- 2 「ハードディスク」メニューで設定したい項目を選び、[決定]を押します。

設定項目: 機器の登録、録画機器選択、情報表示、ディスク取り外し。

※ハードディスク設定について詳しくは15ページをご覧ください。

各種設定(個人情報)

お住まいの地域や階層番号、視聴制限などの設定を行います。

- 1 [メニュー]を押し、▲▼で「各種設定」を選択し、[決定]を押します。「各種設定」メニューで「個人情報」を選び、[決定]を押します。



- 2 「個人情報」のメニューから設定したい項目(例:都道府県設定)を選び、[決定]を押します。

⇒「個人情報」画面が表示されます。



都道府県設定

- 1 「個人情報」メニューで「都道府県設定」を選び、[決定]を押します。

- 2 お住まいの地方を▲▼◀▶で選び、[決定]を押します。



- 3 お住まいの都道府県を▲▼◀▶で選び、[決定]を押します。



※地上デジタル放送チャンネルを受信するため、地域設定をお住まいの地域に設定します。チャンネル設定の前に、必ず地域設定を行ってください。

郵便番号設定

- 「かんたん設定」で設定した状態から変更したときに操作します。
- お住まいの地域に応じたデータ放送、緊急警報放送などを受信するための設定で、地域は「初回スキャン」とは別に設定できます。

- 1 「個人情報」メニューで「郵便番号設定」を選び、[決定]を押します。

- 2 お住まいの地域の郵便番号を[1～10]で入力し、[決定]を押します。



※設定された地域に際しては気象情報、ニュース、地震津波警報、その他文字情報などのデータ送信情報が見られます。

階層番号設定

階層番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするために必要です。階層番号を設定した場合には、階層番号の変更・削除および「設定リセット」をするときに階層番号の入力が必要になります。

- 1 「個人情報」メニューで「階層番号設定」を選び、[決定]を押します。

⇒階層番号の入力画面が表示されます。

- 2 階層番号を変更する場合は、変更前の階層番号を[1～10]で入力します。

- 3 階層番号設定の表示画面で、◀▶で「はい」を選び、[決定]を押します。

- 4 [1～10]で登録したい階層番号を入力し、もう一度入力力の枠と同じ番号を入力します。

●確認して入力した場合は、◀を押し、もう一度入力してください。※入力した階層番号は[*]で表示されます。

- 5 [決定]を押して設定を終了します。

※入力した階層番号は[*]で表示されます。

※購入時、本機には階層番号が設定されていません。初めて設定する場合は、直接階層番号を入力して設定します。

※設定した階層番号を忘れないようメモに取って保存してください。

※設定した階層番号を変更したい場合、既存の階層番号を入力して再度設定しなおしてください。

※階層番号を忘れた場合、本体を初期化してから再度階層番号を設定してください。

各種設定(個人情報)つづき

視聴制限設定

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。

- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 設定番号を設定していない場合は、先に設定番号を設定してください。

- 1 「個人情報」のメニューで「視聴制限設定」を選び、**[決定]**を押します。

⇒設定番号の入力画面が表示されます。

- 2 [1~10]で暗証番号を入力します。



- 3 視聴年齢制限の表示画面で「有効」または「無効」を選び、**[決定]**を押します。

- 設定しない場合、視聴年齢制限を無効に設定します。

- 4 ◀で制限視聴年齢を設定します。「4~19」才まで設定できます。**[決定]**を押して設定を終了します。

メール表示

メールには、放送局からのお知らせや、製品動作エラーの情報などがあります。

- 1 「個人情報」のメニューで「メール表示」を選び、**[決定]**を押します。



- 2 ▲▼で見たいメールを選択します。

- 削除するメールを▲▼で選び、**[赤]**(削除)を押します。

※メールは最大14件まで保存できます。14件を超えるメールは、自動的に古いものから削除され、新しいメールが追加されます。

設定リセット

すでに設定されているすべての追加オプション、郵便番号等の個人情報の設定をリセットします。

- 1 「個人情報」のメニューで「設定リセット」を選び、**[決定]**を押します。

- 2 [1~10]で暗証番号を入力します。



- 3 ◀で「はい」を選び、**[決定]**を押します。



各種設定(機器設定)

字幕表示、受信チャンネル、ソフトウェアのダウンロードなど、機器に関する設定を行います。また、機器の動作を確認することができます。

- 1 [メニュー]を押し、▲▼で「各種設定」を選択し、**[決定]**を押します。「各種設定」のメニューで「機器設定」を選び、**[決定]**を押します。



- 2 「機器設定」の表示画面で設定したい項目を選び、**[決定]**を押し、各種設定を行います。

⇒「機器設定」画面が表示されます。

字幕設定

- 地上デジタル放送で付加して送られてくる字幕サービス(字幕)の表示方法を設定します。
- 字幕放送されている映像・音声と同期した字幕サービス(字幕サービスなど)
- 文字スーパ(一度放送されている映像・音声と同期していない字幕サービス(ニュース速報、編成こたわり、時報など))

- 1 「機器設定」の表示画面で「字幕設定」を選び、**[決定]**を押します。

⇒▲▼で設定項目を選びます。

- 2 ▲▼で字幕表示の「する」または「しない」を選び、**[決定]**を押します。

- 3 ▲▼で字幕言語の「第一言語」または「第二言語」を選び、**[決定]**を押します。

- 4 ▲▼で文字スーパ表示の「する」または「しない」を選び、**[決定]**を押します。

- 5 ▲▼で文字スーパ言語の「第一言語」または「第二言語」を選び、**[決定]**を押します。

※字幕表示と第二言語がある番組のみ設定できます。
 ※デジタル放送には文字スーパ(表示機能があり、災害発生時、緊急文字情報)が提供されます。
 ※複数の言語の文字スーパ(一)に対応した番組では表示する言語を選択することができます。

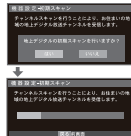
各種設定(機器設定)つづき

初期スキャン

チャンネルスキャンを行うことにより、お住まいの地域の地上デジタルの放送チャンネルを自動検索します。

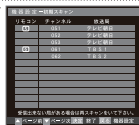
- 1 「機器設定」の表示画面で「初期スキャン」を選び、**[決定]**を押します。

- 2 ◀で「はい」を選択し、**[決定]**を押します。



スキャン中、スキャン度を色とりどりで表示します。

- 3 **[決定]**を押して終了します。



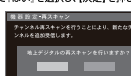
※現在受信可能なチャンネルを自動で検索します。
 ※検索後は、リモコンの数字ボタンで自動でチャンネル(放送波)を割りつけます。
 ※地域設定と違う地域のチャンネルを検出して発見しても、リモコンにチャンネルを割りつけられません。
 ※リモコンボタンの割りつけは、地域設定にて設定した地域内の放送が優先して割りつけられます。地域外の放送を受信する場合には、チャンネル▲▼もしくは、EPG(番組表)から選局が可能です。

再スキャン

すでに登録しているチャンネル以外に、新たにチャンネルを追加する場合に使用します。

- 1 「機器設定」の表示画面で「再スキャン」を選び、**[決定]**を押します。

- 2 ◀で「はい」を選択し、**[決定]**を押します。



アンテナ設定

受信レベルは信号品質を表します。高品質番組を楽しむためには、十分な受信レベル(目安60%)を確保する必要があります。

- 1 「機器設定」の表示画面で「アンテナ設定」を選び、**[決定]**を押します。

- 2 ◀で「放送チャンネル」を選びます。

⇒◀を押すたびに以下のように切り換わります。

WHF1~12 ▶ UHF13~62 ▶ MD-13~MD-22 ▶ SHB-23~SHB-63



地上デジタル放送を受信できるアンテナレベルの目安は、60以上です。

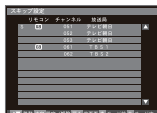
※アンテナ設定について詳しくは3ページをご覧ください。

スキップ設定

現在放送していない、または見たくないチャンネルに対してスキップができます。スキップ設定されたチャンネルは▲▼のチャンネルボタンでチャンネル変更時にスキップされます。

- 1 「機器設定」の表示画面で「スキップ設定」を選び、**[決定]**を押します。

- 2 ▲▼で設定したいチャンネルを選び、**[決定]**を押します。「S」マークが付きます。もう一度**[決定]**を押すと解除できます。設定後**[戻る]**を押して終了します。



- チャンネル▲▼ボタンで順次選択しても、ここで選択した放送局は表示されずにスキップして次の放送局が選択されて視聴できます。

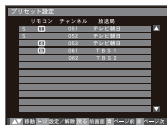
各種設定 (機器設定) つづき

プリセット設定

自動設定されたチャンネルを手動で1~12の数字ボタンにお好みの放送局(チャンネル)を割り当て設定することができます。

1 **【機器設定】**の表示画面で**【プリセット】**を選び、**【決定】**を押します。

2 ▲▼でチャンネルを選び、**【1】~【12】**の数字ボタンを選択して押します。再び同じ数字ボタンを入力すると、設定が解除されます。設定後、**【戻る】**を押し終了します。



ダウンロード

自動ダウンロードの設定をします。

1 ◀▶で**【する】**あるいは**【しない】**を選び、**【決定】**を押して設定します。

ダウンロード

自動ダウンロード

◀ する ▶

【ダウンロードを行う】

※本機は、ソフトウェアのアップデートや機能改善などを行うために、地上デジタル放送電波からソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを書き換えることができます。

※ダウンロードをするための受信レベルの目安は60%以上必要です(受信レベル確認方法は13ページをご参照ください)。※ダウンロードは本機の電源オフ(待機)状態のみで実行されます。

※ダウンロードが実施される前にメッセージが表示されます。

ID表示

本機の内蔵IDを表示します。

1 **【機器設定】**の表示画面で**【ID表示】**を選び、**【決定】**を押します。

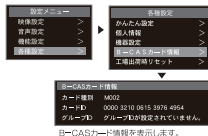


※現在の本機ソフトウェア情報を確認することができます。通常使用しているときは確認をする必要はありません。

各種設定 (B-CASカード情報)

- B-CASカードの情報を表示します。
- 本機からB-CASカードを取り外さなくても、リモコン操作によってカード番号が確認できます。

1 **【メニュー】**を押し、▲▼で**【各種設定】**を選択し、**【決定】**を押します。▲▼で**【B-CASカード情報】**を選び、**【決定】**を押します。



B-CASカード情報を表示します。

B-CASカードが正しく挿入されていない場合

※miniB-CASカードは正しく挿入されていますか?
⇒10ページの「miniB-CASカードを入れる」をご覧ください。

各種設定(工場出荷時リセット)

「工場出荷時リセット」を実行することで、設定した項目や各値(チャンネル設定など)をお買い上げ時の設定(工場出荷状態)に戻すことができます。初期化、初期状態と記載することもあります。

1 **【メニュー】**を押し、▲▼で**【各種設定】**を選択し、**【決定】**を押します。▲▼で**【工場出荷時リセット】**を選び、**【決定】**を押します。



2 **【はい】**を◀▶で選び、**【決定】**を押します。

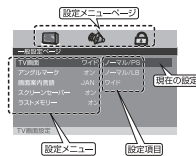


DVDプレーヤーを設定する

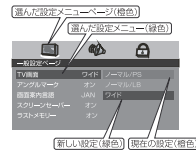
設定ページを使うには

- 1 **【電源】**を押して、テレビの電源を入れます。
- 2 **【DVD】**を押して、DVD入力に切り換えます。
- 3 **【セットアップ】**を押します。

⇒DVDの設定画面が表示されます。



- 4 ◀▶で**【設定メニューページ】**を選び、**【決定】**または**【再生/一時停止】**を押します。
⇒選んだ設定ページが表示されます。
⇒カラーが設定メニュー→緑→設定項目に表示されます。
- 5 ▲▼で**【設定メニュー】**を選び、**【決定】**または**【再生/一時停止】**を押します。
- 6 ▲▼で**【新しい設定】**を選びます。



※設定メニューによっては設定の方法が異なります。それぞれの指示にしたがってください。

7 **【決定】**または**【再生/一時停止】**を押します。

⇒新しく設定されました。



- 他の設定メニューを設定するときは、左記の手順5以下の操作をしてください。
- 他のメニューページを設定するときは、◀を押し、左記の手順4以下の操作をしてください。
- システム設定を終了するときは、**【セットアップ】**を押して終了します。

一般設定ページ

- 1 **【DVD】**を押して、DVD入力に切り換えます。
- 2 **【セットアップ】**を押します。
- 3 ◀▶で**【一般設定ページ】**を選び、**【決定】**または**【再生/一時停止】**を押します。
- 4 以下の操作を行うことができます。

【TV画面】

テレビに合わせて画面サイズを設定します。

- 1 ▲▼で**【TV画面】**を選び、**【決定】**を押します。
- 2 ▲▼で設定したい画面サイズを選び、**【決定】**を押します。



設定項目	説明
ノーマル/PS 	パンスカン 縦横比4:3に設定されます。パンスカンに対応したワイド画面のディスクを再生したとき、左右部分がカットされます。
ノーマル/LB 	レターボックス 縦横比4:3に設定されます。ワイド画面のディスクを再生したとき、全て取りますが上下に黒い帯のある画面になります。
ワイド 	16:9 縦横比16:9に設定されます。ワイド画面のディスクに設定されます。ワイド画面のディスクを再生したとき、全て取りま。

- 設定は必ず停止状態で行ってください。
- ソフトや接続するテレビによって、映し出される映像が異なります。
- ディスクによっては切り換えができない場合があります。

DVDプレーヤーを設定する(つづき)

■アングルマーク

複数のアングルから撮影したソフトを再生するときのアングルマーク表示設定。

- 1 ▲▼で「アングルマーク」を選び、[決定]を押します。
- 2 ▲▼で「オフ」または「オフ」を選び、[決定]を押します。

設定項目
オン: マーク表示します。
オフ: マーク表示しません。



■画面案内言語

画面に表示される言語の設定。

- 1 ▲▼で「画面案内言語」を選び、[決定]を押します。
- 2 ▲▼で「英語」または「日本語」を選び、[決定]を押します。

英語: 英語で表示します。
日本語: 日本語で表示します。



■スクリーンセーバー

テレビ画面の輝度を防ぐため、DVDロゴを画面上で動かします。

- 1 ▲▼で「スクリーンセーバー」を選び、[決定]を押します。
- 2 ▲▼で「オン」または「オフ」を選び、[決定]を押します。

設定項目
説明
オン 静止状態のまま約4分経過すると作動します。
オフ 作動しません。



■ラストメモリー

電源の切れたときのディスクの場合を記憶して、次に電源を入れたときにそこから再生します。

- 1 ▲▼で「ラストメモリー」を選び、[決定]を押します。
- 2 ▲▼で「オン」または「オフ」を選び、[決定]を押します。



設定項目	説明
オン	この機能が有効になります。
オフ	この機能が無効になります。

- ・ディスクによってはこの機能が使えない場合があります。
- ・ディスクによっては再生ポイントのずれがあります。

オーディオ設定ページ

- 1 [DVD]を押して、DVD入力が切り換えます。
- 2 [セットアップ]を押します。
- 3 ◀▶で「オーディオ設定ページ」を選び、[決定]または「再生一時停止」を押します。
- 4 以下の操作を行うことができます。

■ダウミックス

サウンドで記録されたディスクを2チャンネルで聴くように設定します。

- 1 ▲▼で「L/R/T」または「ステレオ」を選び、[決定]を押します。



設定項目	説明
L/R/T	左右ミックスのモノラルモード。
ステレオ	通常のステレオモード。

初期設定ページ

- 1 [DVD]を押して、DVD入力が切り換えます。
- 2 [セットアップ]を押します。
- 3 ◀▶で「初期設定ページ」を選び、[決定]または「再生一時停止」を押します。
- 4 以下の操作を行うことができます。

■音声設定

ディスク再生時の音声言語を設定します。

- 1 ▲▼で「音声設定」を選び、[決定]を押します。
- 2 ▲▼で設定したい言語を選び、[決定]を押します。

設定項目: 英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、日本語、その他。

※[その他]は言語コード入力となっています。

- 言語コードは「0000」です。
- [言語コード]空欄では、[10/0]で言語コードを入力し、[決定]を押して「その他」設定を終了します。



DVDプレーヤーを設定する(つづき)

■字幕設定

ディスク再生時の字幕言語を設定します。

- 1 ▲▼で「字幕設定」を選び、[決定]を押します。
- 2 ▲▼で設定したい言語を選び、[決定]を押します。

設定項目: 英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、日本語、オフ、その他。

※[その他]は言語コード入力となっています。

- 言語コードは「0000」です。
- [言語コード]空欄では、[10/0]で言語コードを入力し、[決定]を押して「その他」設定を終了します。



■ディスクメニュー

ディスクメニューの画面表示に使用する言語を設定します。

- 1 ▲▼で「ディスクメニュー」を選び、[決定]を押します。
- 2 ▲▼で設定したい言語を選び、[決定]を押します。

設定項目: 英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、日本語、その他。

※[その他]は言語コード入力となっています。

- 言語コードは「0000」です。
- [言語コード]空欄では、[10/0]で言語コードを入力し、[決定]を押して「その他」設定を終了します。



本機で設定した言語が優先されますので、DVDディスクで設定できる場合はDVDディスク側で設定してください。

■ペアレナタル

年齢別視聴制限がある場合、パスワードを使って視聴制限をします。

- 1 ▲▼で「ペアレナタル」を選び、[決定]を押します。
- 2 ▲▼で「レベル1」~「レベル8」を選び、[決定]を押します。

●年齢制限の視聴制限設定を行います。

(Kid safe)レベル1 2 3 4 5 6 7 8 (Adult)

視聴制限大 ← → 視聴制限なし

※初期設定のパスワードは「8888」です。

■パスワード変更

パスワードの設定と変更をします。

■パスワードモード設定

パスワードモードをオン/オフに切り換えます。

- 1 ▲▼で「パスワード変更」を選び、[決定]を押すと「パスワード設定ページ」が表示されます。

- 2 ▲▼で「パスワードモード」を選び、[決定]を押します。

- 3 ▲▼で「オン」または「オフ」を選び、[決定]を押します。



■パスワード変更

パスワードを変更できます。

※初期設定のパスワードは「8888」です。

- 1 ▲▼で「パスワード変更」を選び、[決定]を押します。

⇒「パスワード設定画面」が表示されます。



- 2 [OK]パスワード空欄では、[1~10/0]で変更前のパスワードを入力します。

- 3 [新パスワード]空欄では、[1~10/0]で新しいパスワードを入力します。

- 4 [パスワード確認]空欄では、[1~10/0]で新しいパスワードを再度入力します。

- 5 [決定]を押して設定を終了します。

■デフォルト

全ての設定を工場出荷時の初期設定に戻ります。

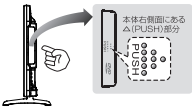
- 1 ▲▼で「デフォルト」を選び、[決定]を押します。
- 2 [決定]を押して工場出荷時設定をする。



DVD/CDを再生する

再生の基本操作

- 1 【電源】を押して、テレビの電源を入れます。
- 2 【DVD】を押して、DVDモードに切り換えます。
- 3 本体側面にある△(PUSH)部分を押すと、ディスクトレイが出てきます。



- 4 ディスクトレイにDVDディスクを取り付け、△(PUSH)部分を押して音がするまで軽く押してください。



- 5 このとき、画面には「ロード中」が表示され、ディスクの読み込みが始まります。



- 6 読み込みが終わると、画面にはディスクのメニューが表示されます。(ディスクのメニューはディスクによって形式が異なります。)

⇒ディスクによっては自動的に再生が始まります。

- 7 ▲▼▶◀▶▶▶でメニューを選び、【決定】または【再生/一時停止】を押します。

●注意

- DVDディスク取り出す場合は、「3」の手順を繰り返してください。
- ディスクトレイを引き出すときは無理やり引っ張らないでください。故障の原因になります。
- ディスクをトレイから取り出すとき、ディスクがまだ回っている場合があります。ディスクが完全に停止してから取り出してください。

再生時のリモコン操作

ボタン	説明
再生/一時停止	<p>再生/一時停止</p> <p>再生中に【再生/一時停止】押すと一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。</p> <p>画面表示:</p>
停止	<p>停止</p> <p>1 再生中に【停止】押すとその場面で仮停止します。</p> <p>画面表示:</p> <p>⇒【再生/一時停止】で続きスタート。</p> <p>※このボイストは記憶されていて【再生/一時停止】を押すと、停止したところから再生が始まります。</p> <p>2 完全にディスクを停止させるには、【停止】を2回押しします。</p>
早送り/早戻し	<p>早送り/早戻し</p> <p>1 再生中または一時停止中に【早送り】/【早戻し】を押すと早送りまたは早戻し再生をします。⇒押すたびに下段のようには早くなり、画面に速度が表示されます。</p> <p>2倍 → 4倍 → 8倍 → 16倍 → 32倍</p> <p>← 通常の再生 →</p> <p>画面表示: 早送りのときの表示</p> <p>早戻しのときの表示</p>
再生/一時停止	<p>2 【再生/一時停止】を押すと通常の速度に戻ります。</p> <p>⇒早送り、早戻し中は音声は出ません。</p>

DVD/CDを再生する(つづき) 再生中の便利な使いかた

ボタン	説明
バック/スキップ ストップ	<p>バック/スキップ</p> <p>再生中または一時停止中に【バック】または【スキップ】押します。</p> <p>⇒DVDのときは次のチャプターまたは前のチャプターに移動し再生をはじめます。</p> <p>⇒オーディオCDのときは次のトラックまたは前のトラックに移動し再生をはじめます。</p> <p>画面表示:</p> <p>前のときの表示 次のときの表示</p>
A-B	<p>区間(A-B)の繰り返し再生</p> <p>再生中に、繰り返したい再生帯の始まりで【A-B】を押します。繰り返したい部分の終わりでもう1回【A-B】を押します。</p> <p>⇒通常の再生に戻すときは、もう一度【A-B】を押します。</p> <p>画面表示:</p> <p>表示なし (通常の再生)</p>
リピート	<p>リピート(繰り返し再生)</p> <p>【リピート】を押すたびに下記のようなリピート再生に切り換えることができます。</p> <p>⇒この機能が使えないディスクもあります。</p> <p>DVD再生のとき</p> <p>画面表示:</p> <p>表示なし (通常の再生)</p> <p>チャプター: 再生中のチャプターがリピート再生されます。</p> <p>タイトル: 再生中のタイトルがリピート再生されます。</p> <p>オール: ディスクの全てがリピート再生されます。</p> <p>オーディオCD再生のとき</p> <p>画面表示:</p> <p>表示なし (通常の再生)</p> <p>トラック: 再生中のトラック(曲)がリピート再生されます。</p> <p>オール: ディスクの全てがリピート再生されます。</p>
音声	<p>音声を切り換える</p> <ul style="list-style-type: none"> ●複数の音声を記録したDVDの場合、希望の音声を選んで再生することができます。 ●現在の音声設定が表示され、押すたびに他の音声設定が表示され切り換えることができます。 <p>⇒【音声切換】を押します。</p> <p>画面表示:</p> <p>※複数の音声データが入っているDVDを再生する場合のみ有効です。</p> <p>※音声の種類及び数はソフトにより異なります。</p>
映像	<p>映像アングルを切り換える</p> <ul style="list-style-type: none"> ●複数のアングルが記録されたDVDの場合、同じシーンを異なるアングルで再生することができます。 ●押すたびに異なるアングルに切り換わります。 <p>⇒【アングル】を押します。</p> <p>画面表示:</p> <p>※この機能が記録されていないDVDではこの機能は使えません。</p>
字幕	<p>字幕を切り換える</p> <ul style="list-style-type: none"> ●複数の言語による字幕を記録したDVDの場合、希望の字幕言語を選んで再生することができます。 ●現在の字幕言語が表示され、押すたびに他の字幕言語が表示され切り換えることができます。 <p>⇒【字幕】を押します。</p> <p>画面表示:</p> <p>※複数の字幕データが入っているDVDを再生する場合のみ有効です。</p> <p>※字幕言語の数はソフトにより異なります。</p>

再生中の便利な使いかた(つづき)

DVDメニューを使う

ほとんどのDVDにはディスク内にメニューが記録されています。メニューには、本編再生トラック/チャプター選択・音声選択・字幕選択などの項目があります。

⇒ [DVDメニュー] を押して、▲▼◀▶で選択したい項目を選び、[決定] を押します。

※一部のディスクは [DVDメニュー] を押すと、タイトル/数字を表示します。

数字入力について

CD/DVDでのタイトル/チャプター/トラックの番号入力に9。

● [1]~[9]のときは最初に [10.0] を押し、次に [1]~[9] を押します。

● [10]のときは、大きい桁の数字から押します。※ [10.0] は0に対応しています。

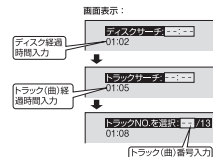
例：3のときは [10.0] を押し、次に [3] を押します。
10のときは [1] を押し、次に [10.0] を押します。
29のときは [2] を押し、次に [9] を押します。

GOTO

オーディオCD再生のとき

1 [GOTO] を押します。

● 入力画面が表示されます。
⇒ [GOTO] を押すたびに入力画面が切り替わります。



2 数字ボタン [1]~[10.0] を使ってディスク経過時間、トラック経過時間またはトラック番号を入力します。

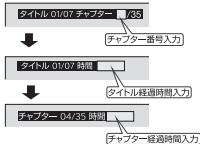
3 指定した時間/トラックから再生がはじまります。
※無効な数字は入力できません。
※ディスクによってはこの機能は使えません。

DVD再生のとき

1 [GOTO] を押します。

⇒ 入力画面が表示されます。
⇒ [GOTO] を押すたびに入力画面が切り替わります。

画面表示:



2 数字ボタン [1]~[10.0] を使って、チャプター番号、タイトルまたはチャプター経過時間を入力します。

3 指定したシーンから再生がはじまります。
※無効な数字は入力できません。
※ディスクによってはこの機能は使えません。

タイトルの指定して再生する

多くのDVDにはタイトルという大きな区分とチャプターという小さい区分があり、それぞれ番号が与えられています。この番号を指定することで、見たい部分と呼び出すことができます。

1 [タイトル] を押して、タイトル表示画面にする。

※実際の表示は、ディスクによって異なります。

タイトル	CH	時間
01	01	11
02	02	12
03	03	13
04	04	14
05	05	15
06	06	16
07	07	17
08	08	18
09	09	19
10	10	20

2. ▲▼◀▶で見たいタイトル、またはチャプターを選び、[決定] を押します。

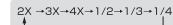
※タイトル、チャプターの選び方は、ディスクによって異なります。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

ズーム

1 [ズーム] を押します。

⇒ [ズーム] を押すたびに下図のように拡大/縮小表示され、画面に倍率が表示されます。



ズームのときの表示



● 拡大表示中は▲▼◀▶で画面を移動することができます。

再生中の便利な使いかた(つづき)

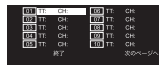
プログラム再生

プログラム設定した順序で再生します。

DVDの再生

1 [プログラム] を押します。

⇒ プログラム設定画面が表示されます。



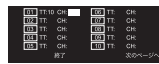
(TT:タイトル CH:チャプター)

※タイトルが一しつないDVDのときは、チャプターのみの入力になります。

※オーディオCDも同様の入力画面になります。

2 [1]~[10/0]でタイトル番号を入力します。

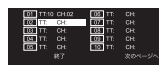
⇒ カーソルがチャプター番号入力欄に移動します。



※無効な数字は入力できません。

3 [1]~[10.0]でチャプター番号を入力します。

⇒ カーソルの次のプログラム番号に移動します。



4 手順2と3を繰り返して、プログラム設定をします。

5 10番目の入力完了したら▲▼◀▶で「次のページ」にカーソルを合わせ [決定] を押します。

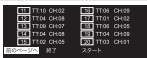
⇒ 11~20までのプログラム設定画面が表示されます。
● プログラムでできる数は最大20です。

6 プログラム入力が完了したら▲▼◀▶で「スタート」にカーソルを合わせ [決定] を押します。

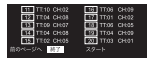
⇒ プログラムを開始します。



● 前の01~10番のプログラム設定画面に戻るときは▲▼◀▶で「前のページへ」にカーソルを合わせ [決定] を押します。



● プログラム設定画面を閉じるときは [プログラム] を押すか▲▼◀▶で「終了」にカーソルを合わせ [決定] を押します。



● プログラム再生後、プログラム設定を全て削除するときには [プログラム] を押して▲▼◀▶で「停止」にカーソルを合わせ [決定] を押します。



オーディオCDの再生

1 [プログラム] を押します。

⇒ プログラム設定画面が表示されます。



2 [1]~[10.0]でトラック番号を入力します。

⇒ カーソルが次のプログラム番号に移動します。
※無効な数字は入力できません。



3 手順2を繰り返して、プログラムを設定します。

4 10番目の入力完了したら▲▼◀▶で「次のページ」にカーソルを合わせ [決定] を押します。

⇒ 11~20までのプログラム設定画面が表示されます。
● プログラムでできる数は最大20です。

5 プログラム入力が完了したら▲▼◀▶で「スタート」にカーソルを合わせ [決定] を押します。

● その他がDVDと同様の操作です。

ご注意

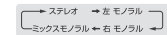
電源を切る、[停止] を2回押す、ディスクを取り出すなどした場合はプログラムが解除されます。

（つづき）再生中の便利な使いかた

音声切換（オーディオCD）

【音声切換】を押します。

⇒押すたびに下図のように他の音声設定が表示され切り換えることができます。



画面表示：ステレオ

DVD/CD再生情報を見る

【インフォ】を押します。

⇒押すたびに下図のように情報が画面表示されます。

DVDの再生情報

再生中タイトル番号/総タイトル

画面表示：
タイトル再生時間
TT1/07 CH01/35
00:03:28
再生中チャプター番号
総チャプター
タイトル経過時間

↓
タイトル残り時間
TT1/07 CH01/35
2:08:47
タイトル残り時間

↓
チャプター再生時間
TT1/07 CH01/35
00:03:28
チャプター経過時間

↓
チャプター残り時間
TT1/07 CH01/35
1:08:47
チャプター残り時間

↓
表示なし

オーディオCDの再生情報

画面表示：再生中トラック番号/総トラック

シングル残り時間
トラック 01/13
02:30
シングル残り時間

↓
トータル再生時間
トラック 01/13
05:47
トータル経過時間

↓
トータル残り時間
トラック 01/13
58:23
トータル残り時間

↓
シングル再生時間
TT1/07 CH01/35
1:08:47
シングル経過時間

↓
表示なし

DVD/CDディスクについて

再生できるディスクの種類

ロゴマーク	種類/サイズ	内容
	DVDビデオ (直径:12cm)	●映像+音声
	DVDビデオ (直径:12cm)	●映像+音声 (VIDEOモード/VRモード対応) ※ファイナライズ処理を行わないと再生できません。
	音楽用CD (直径:12cm)	●音声
	CD-R/RW (直径:12cm)	●音声 (CD-DA) ※ファイナライズ処理を行わないと再生できません。 ●音声 (MP3) ●静止画 (JPEG)

※ DVD-R・DVD-RWはDVDディスクの品質、レコーディング機器の品質により、再生できない場合があります。

●本機で再生できないディスク

本機のDVDプレーヤーではDVD-ROM・DVD-RAM・DVD-Audioは再生できません。

●コピーコントロールCD

本機のDVDプレーヤーでは音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。

●本機で再生できるDVDのリージョンコード（地域番号）

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとにリージョンコード（地域番号）が決められています。再生するディスクに、本機のリージョンコード「2」が含まれていないディスクは再生できません。また「ALL」と記載されたディスクは再生できます。

●JPEGの再生

JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機ではCD-R・CD-RW・CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます。（記録方法によって再生できない場合があります。）ISO9660レベル1・レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。

DVD/CDディスクについて（つづき）

ディスク構成について

●DVDディスクは通常「タイトル」で分けられ、さらに「チャプター」で分けられます。また、CDでは「トラック」で分けられています。

●タイトルやチャプター、トラックには順に番号がつけられています。

●これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」と呼びます。ただしDVDによっては番号が記録されていないものがあります。



DVD/CDディスク使用上のご注意

ディスクの保管



指示

下記のような場所には保管しないでください。ディスクが使えなくなる場合があります。

- 直射日光があたる場所
- 湿気や塵埃のある場所
- ヒーターの近くなど熱気や熱風のあたる場所、湿度や湿度の高い場所には置かないでください。



使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

ディスク取扱上のご注意



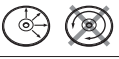
指示

記録面に触れないようにしてください。



指示

ディスクに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。



DVD/CD再生のご注意



禁止

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



割れ目やそりのあるディスクは絶対に使わないでください。



指示

ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。



温度の変化により水滴付いたとき

●使用前に、やわらかい布などで、必ず放射状に軽くふき取ってください。完全に乾いてからお使いください。

故障かな?と思ったら

つぎのような場合は故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前にもう一度ご確認ください。

まず確認してください

電源が入らなかつたり、放送が映らなかつたりした場合は、以下を確認してください。



【このような場合は故障ではありません

- 液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- 「チャンネルカナルシグナル」といふしきみ音がある場合は、部屋の温度変化やチャンネルが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などとは異なる可能性があります。
- 本製品が「待機」のときに番組情報取得などの動作をするために、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

このようなときは	ここをお調べください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか? ●内部処理を行っているために操作の反応が悪い場合があります。 ⇒約1分ほどしてから再度電源を入れてください。
急に電源が切れた	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネ設定の「外部入力無番号オフ」「オンエア無番号オフ」が「動作する」になっていませんか? ●オートパワーが設定されていませんか? ⇒再度電源を入れ、同じ症状が起こらないか確認してください。
電源が勝手に入る	<ul style="list-style-type: none"> ●視聴予約を設定していませんか?
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの乾電池が消耗していませんか? ●乾電池のプラス/マイナスが逆になっていませんか? ●テレビのリモコン受光部に正しく向け操作していませんか? ●テレビのリモコン受光部に強い照明や直射日光が当たっていませんか? ●リモコンとテレビの間に遮断物はありませんか?ある場合は取り除いてください。
チャンネル▲▼ボタンで特定のチャンネルだけ選局ができていない	<ul style="list-style-type: none"> ●スキップ設定をしていませんか? ⇒設定内にある「各種設定」→「機器設定」→「スキップ設定」からスキップ設定を解除してください。 ●編成チャンネルを視聴している可能性があります。 数回ボタンを押してください。同じ番組が放送されている場合があります。
映像も音声も出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナ線が外れていませんか? ●接続されている入力先などに切り換えられていますか? ●HDMIケーブルなどを映像入力に使用しているときには、音声ケーブルを別に接続しなおす必要があります。
映像は出るが、音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●消音状態になっていませんか? 音量が0になっていませんか? ●ヘッドホン端子にヘッドホンなどが接続されていますか? ●HDMIケーブルなどを映像入力に使用しているときには、音声ケーブルを別に接続しなおす必要があります。
ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●音声に関係する入力端子の接続ケーブルが外れていませんか? ●音声端子がしっかりと挿入されているか確認してください。
音身に異音が入ったり映像にノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品の近くで携帯電話などの無線機器を使用していませんか? ⇒携帯電話などを離してお使いください。 ●アンテナの向きがずれていませんか? ●受信電波信号が弱い状態ではありませんか?(受信レベルを確認)

故障かな?と思ったら(つづき)

このようなときは	ここをお調べください
映像が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナ接続コネクタが外れていませんか? ●アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか? ●アンテナが風で壊れたり、曲がったり、向きがずれたりしていませんか? ●近くで落雷や雷達障害などが起きていませんか? ●1本のアンテナ線を複数のテレビレコーダーに接続していませんか? ●近くで電磁波を出す家電製品を使用していませんか? ●映像を正しく調整されていますか? ●チャンネルは正しく設定されていますか? ●受信電波信号が弱い状態ではありませんか? 編成チャンネルを視聴している場合があります。 ⇒チャンネルボタンを数回押す、またはチャンネルへ切り換えてください。 ●地域設定を正しく設定していませんか? ⇒お住まいの地域によっては、該当する地域域より近隣の地域へ変更することで視聴できる場合がありますのでお試しください。 ●チャンネルが変更されていませんか? ⇒製品出荷時以降にチャンネルが変更されている(放送局や中継局が増設される等)場合には、チャンネルの再設定が必要な場合があります。
テレビを見てみると、縦線状の妨害が出て見えない	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナやアンテナ端子からの妨害電波の影響が考えられます。 ⇒地上波放送のアンテナ線の接続には、盲輪ケーブル(市販品)をお使いください。 ⇒アンテナの高さや向きを調整すれば、妨害電波のある程度少なくなります。 ●外部機器からの入力映像を見ている場合は、接続や設置場所を確認してください。
色があざい 色合いが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●地上アナログ放送時に放送されていた番組などの再放送を視聴する場合には、画像が悪く見ることがありますが故障ではありません。 ●映像設定を正しく調整していませんか? チャンネルは正しく設定されていますか? ●映像端子の接続は確実ですか?
画面が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネモードが「1」や「2」に設定されていませんか? ⇒省エネモードを「0」に設定すると明るくなります。 ●映像モードが変更されていませんか? 映像の調整は正しいですか? ●映像を視聴する時には暗い画面が見えにくくなることがあります。
デジタル放送が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ●mini B-CASカードを正しく挿入されていますか? ●mini B-CASカードを正しく挿入しないと、地上デジタル放送は視聴できません。 ●mini B-CASカードのIC部分が損傷不良(装、結露、チビ)の場合には何度が挿入し直すことと視聴できる場合があります。カードが折れたり、曲がったり、欠けたりすると使用できなくなりますので、丁寧に扱ってください。 ●デジタル設定内Dmini B-CAS情報にエラーが表示された場合は、P10に記載してある順ビークンディショナルアクセスシステムズへお問い合わせください。
地上デジタル放送が受信できない (引越した際、地上デジタル放送が受信できない)	<ul style="list-style-type: none"> ●お住まいの地域は、地上デジタル放送の対象エリアですか? ●UHfアンテナは、地上デジタル放送の送信施設に向けられていますか? ●地上デジタル放送の有効な放送局/中継局がアナログ放送時から変更される場合があります。 ●お住まいの地域の放送局/中継局を確認してください。 ●チャンネルが変更された可能性があります。 ●再度「かんたん設定」(チャンネルスキャン)を行ってください。 ●地上デジタル放送が受信できるUHfアンテナをご使用ですか?

故障かな?と思ったら(つづき)

このようなときは	ここをお調べください
録画	<ul style="list-style-type: none"> 本機に対応したUSBハードディスクですか? ⇒本機で最終確認済みの機器以外では、使用できないことがあります。 ⇒対応している機器については、59ページをご覧ください。 USBハードディスクが正しく接続されていますか? USBハブを経由した場合は正しく動作しないことがあります。 ⇒USBハードディスクを正しく接続してください(15ページ)。 USBハードディスクが本機に登録されていますか? ⇒USBハードディスクを本機に登録してください(15ページ)。
録画できない	<ul style="list-style-type: none"> USBハードディスクの電源が入っていますか? ⇒電源オンが必要なUSBハードディスクの場合は、電源をオンしてください。 USBハードディスクの空き容量が不足していませんか? ⇒不要な番組などを削除して、USBハードディスク容量を確保してください。 録画できない映像ではありませんか? ⇒コピー禁止の番組や、放送データ放送、ラジオ放送番組、外部入力からの映像・音声は録画できません。 放送開始時刻が変更されていませんか? ⇒番組予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、「設定メニュー」の「メール表示」で確認できます。
録画した番組が消えた	<ul style="list-style-type: none"> 消したくない番組を選び、保護設定を「オン」に設定してください。
録画した番組が再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。
画面が映らない	<ul style="list-style-type: none"> テレビの入力切替は、「DVD」になっていますか? 電波が発生する機器の近くに使用していませんか?
映像は出るが、音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 消音状態になっていませんか、または音量が0になっていませんか? ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか? ディスクに変形や破損、傷や汚れがありますか?
再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが正しくセットされていませんか? ディスクに変形や破損、傷や汚れがありますか? 再生可能ディスクですか? 再生情報が記録していませんか? ◆ディスクを取り出し、本機を1時間以上放置して乾燥させてください。
音声や映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに汚れ、キズがある。 ◆ディスクの汚れをおきとってください。また、キズのついたディスクは使用しないてください。 振動の生じる場所で使用している。 ◆本機に振動が加わると、音とびをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。
音声/字幕の切換ができない	<ul style="list-style-type: none"> 再生しているディスクに複数の音声、字幕が記録されていない可能性があります。
アングルの切換ができない	<ul style="list-style-type: none"> 再生しているディスクに複数のアングルが記録されていない可能性があります。
画像が縦または横に伸びる	<ul style="list-style-type: none"> テレビの画面サイズ設定は正しくされていますか?
ディスクが入っているのにディスクなしと表示がでる	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが裏返しになっていませんか?

エラーメッセージ一覧

■メール表示での録画関連のエラーのメッセージ

エラー	メッセージ
録画予約中止	システムエラーにより、録画予約の登録に失敗しました。
録画予約中止	システムエラーにより、予約番組の視聴が開始出来ませんでした。
録画予約中止	録画予約チャンネルの番組に失敗しました。 予約したチャンネルの受信状態が悪い可能性があります。 受信状態を確認して下さい。
録画予約中止	システムエラーにより、電源が入りませんでした。
録画予約解除(番組情報取得不可)	予約番組情報(番組開始時間、番組放送時間)が取得出来なため、録画予約を解除しました。
録画予約解除(遠隔拒否)	録画開始時に「通信しない」を選択したため、録画予約を解除しました。
録画予約解除(通話)	予約番組視聴中にチャンネル操作を行ったため、録画予約を解除しました。
録画予約解除(電源「切」)	予約番組視聴中に電源「切」操作を行ったため、録画予約を解除しました。
録画予約解除(開始時刻変更失敗)	番組開始時刻が変更されましたが、逆送出来ませんでした。 変更された時刻に別の録画予約が設定されている可能性があります。
録画予約解除(予約番組終了)	主電源が切れている間に録画予約の放送が終了したため、録画予約を解除しました。
録画予約中止	録画予約チャンネルの通知を抑制しました。
録画予約解除(予約番組解除)	録画予約開始時の機器設定(スキャン、アンテナ設定)を行っていた可能性があります。
録画予約中止	録画指定のハードディスク登録に失敗しました。
録画予約中止	ハードディスクが使用可能なドライブで確認してください。
録画予約中止	ユーザー操作により、予約が取り消されました。
録画予約中止	ハードディスク容量がいっぱいです。
録画予約中止	録画できる最大タイトル数を超えるため、録画をできません。

■代表的なエラーメッセージについての説明

メッセージ	対処のしかた
B-CASカードを正しく装着してください。	B-CASカードが挿入されていないと表示されます。
このB-CASカードをご使用できません。	B-CASカードが挿入されていない、または使用できないカードが挿入されています。付属のB-CASカードを正しく入れてください。
正しいB-CASカードを装着してください。 エラー番号:E001	B-CASカードが挿入されていない、または使用できないカードが挿入されています。
このB-CASカードはご使用できません。 ご観のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	B-CASカードが正しく挿入されているが確認できません。
正しいB-CASカードを装着してください。 エラー番号:E001	無効なICカードが挿入されています。有効なB-CASカードを挿入してください。
このB-CASカードではご観になることができません。 ご観のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。エラー番号:E002	無効なICカードが挿入されています。有効なB-CASカードを挿入してください。
このカードには必要な情報がありません。 ご観のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	無効なICカードが挿入されています。有効なB-CASカードを挿入してください。
スキューン情報がありません。 各種設定の機器設定より、初期スキャンを実施して下さい。	各種設定より初期スキャンを実行してください。
信号を受信できません。(E202)	アンテナの接続が正しく行われているか確認してください。
現在のチャンネルは放送していません。	放送されていないチャンネルを選択しています。

エラーメッセージ一覧(つづき)

メッセージ	対処のしかた
受信感度が低下しました。 低周帯用の音声映像に切替えます。	雨などの影響により、一時的に受信レベルが低下しています。しばらくお待ちください。アンテナの接続が正しく行われているかも確認してください。
スクリーン情報の更新が必要になりました。 各種設定より初期スキャンを実行して下さい。	各種設定より初期スキャンを実行してください。
指定された3桁番号では視聴できませんでした。 番号を確認してください。(E204)	チャンネルが割り当てられていない数字を指定したときに表示されます。
重複している3桁番号が存在します。 枝番を入力してください。	数字キーで枝番号を追加してください。
このボタンにチャンネルは割り当てられていません。(E204)	チャンネルが割り当てえていない数字キーを押したときに表示されます。
視聴先のサービス情報が無い為、視聴できません。	放送チャンネルを選択しなおしてください。
この番組をご覧いただくには契約登録が必要です。 詳細はご案内チャンネルの中でご紹介しています。 ご案内チャンネルに切り換えますか?	契約されていないチャンネルを視聴しています。
予約番組が始まるようしている。予約を実行しますか? 「はい」現在の操作を中断して、予約した操作を始めます。 「いいえ」予約を取消した後、現在の操作を続けます。	すでに予約してある番組が始まるときに、この他の操作をしようとした場合に表示されます。
この番組は視聴条件により、ご覧いただけません。 番号があります。	放送チャンネルを選択しなおしてください。 アンテナの接続が正しく行われているか確認してください。
形式はサポートされていません。	指定の番組を再生することができないと表示されます。
ハードディスクが検出されません。	USBハードディスクが正しく接続されているか確認してください。
ハードディスクの空き領域が足りません。	USBハードディスクの空き領域が少ないため録画ができません状態です。
番組情報(番組開始時間、番組放送時間)が取得出来ないため、録画出来ません。 ファイルへの書き込みが出来ません。	アンテナの接続が正しく行われているか確認してください。 USBハードディスクが正しく接続されているか確認してください。
この番組は録画できません。 録画済み番組数が上限になりました 不要な番組/予約を削除してください。	録画できない番組です。 録画済み番組数が300件を超えたときに表示されます。
このファイルは再生できません。それは、他のテレビのよって記録されました。	本機で接続確認済みの機器以外では、使用できませんことがあります。

その他のメッセージ

テレビシステム中の作動中に表示されます。	操作の確認メッセージ
受信感度が回復しました。 高周帯用の音声映像に切替えます。	通知予約された番組の開始時間は、変更されています。
低周帯用の音声映像に切替えました。 XXXXで緊急警報放送が始まりました。	録画終了
臨時放送が終了しました。	録画を中止しました
最後に視聴したいチャンネルに選択します。	録画中
引き続きXXXXで番組を継続します。	録画を再開しました
現在視聴中の番組は引き続きXXXXで継続されます。	録画中に電源プラグを抜かないでください。
視聴していた番組は引き続きXXXXで継続されています。	録画準備中、お待ちください。
視聴予約された番組が開始されます。	録画を再開した後に入力を切り替えてください。

その他の情報

お知らせメールについて

放送局からのお知らせや、ソフトウェアの更新情報や、製品動作エラーの情報などがあつた場合には放送メールでお知らせします。
→4ページ「設定メニュー」→「各種設定」→「個人情報」→「メール表示」で確認します。

カードエラーについて

本製品はminiB-CASカードを挿入して使用します。miniB-CASカード関連のエラーメッセージが表示されたときは、以下を確認してください。

- miniB-CASカードは正しく挿入されていますか? →10ページ「miniB-CASカードを入れる」をご覧ください。
- カードロックに「不正」がたまっていますか? →番組のリアスタターなどを起動して、miniB-CASカードを清潔にしてください。
- miniB-CASカードでないカードを挿入していませんか? →miniB-CASカードを挿入してください。

EWS(緊急警報放送)について

地上デジタル放送を視聴中にEWS(緊急警報放送)を受信すると、画面上に「緊急警報放送を受信しました」と表示されます。このときに「放送」ボタンを押すと緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えても表示されます。緊急警報放送を視聴した後、または表示しているメッセージを消す場合は「戻る」を押してください。

EWS(緊急警報放送)とは、地震津波などの災害発生時に、放送局に特殊な信号を割り当てるとしてテレビやラジオなどの受信機から警音(ピロピロという音)を発し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。人命や財産に重大な影響のある次の3つの場合に限って放送されます。

- 1) 大規模地震など災害についての警音伝言が受け取られた場合。
 - 2) 津波警報が発せられた場合。
 - 3) 地方自治体の他から、避難命令などの放送の要請があつた場合。
- 本製品は地震や津波などの災害発生時に発信される緊急警報放送の文字スーパー(表示)に対応しています。緊急警報放送を受信することによる本製品の自動起動には対応しておりません。米軍基地周辺のAFN(米軍放送)の緊急告知放送には対応しておりません。

ダウンロードについて

本機はソフトウェアのアップデートや機能改善を行う必要がある場合には、地上デジタル放送電波からプログラムをダウンロードしてソフトウェアを書き換えます。
 ・メッセージがテレビと画面上に表示されました。ダウンロードを実行するために電源を接続して待機状態にしてください。
 ・ダウンロードは、本機が電源オフ状態(待機状態)のときのみ実行されます。
 ・ソフトウェアアップデートのお知らせにある時間の前後30分間は待機状態にしてください。
 ・ダウンロードが実施される前にメッセージが表示されます。

液晶パネルの特徴について

液晶パネルは製造上、非常に高品質な技術で作られており99.99%以上の有効画素数を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点(画素欠け)や周囲に異なる色の点(点)やまの点(痛点)が存在する場合があります。これは故障ではありませんのでご安心ください。
 ・液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると発熱(画像残像の様な症状)が出現し、液晶パネルの寿命を短縮してしまふ可能性があります。ご使用にならないときは必ず電源をお切りください。

本製品を廃棄、または他の人に譲渡するとき

本製品の譲渡または廃棄の際は、個人情報保護のためにデジタル受信設定などの個人情報やの消去を行ってください。
 ・ゴミ処理場等で処分されるゴミの中へ本製品を捨てないでください。廃棄の際は地方自治体の乗持または規制に従ってください。
 ・miniB-CASカードは破壊された(焼ビエース・コンディショナルアクセスシステム上で速度してください)。

アナログ放送について

●本機はアナログ放送(地上/衛星CATV放送)については視聴できません。

HDMI連動機能について

●本機とテレビ等をHDMIで接続すると一部連動動作ができることがありますが、その動作については保証致しかねます。

取扱説明書について

●記載されている内容は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際の画面を必ずご確認ください。
 ●記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

主な仕様

種 類	24V型DVDプレーヤー内蔵デジタルフルハイビジョンLED液晶テレビ	
品 番	HB-24HDVR	
電 源	電源入力: AC100V-24V 50/60Hz共有 電源出力: DC12V 4A(専用ACアダプター使用) 35W(待機時: 0.8W)	
消費電力	52 kWh/年	
年間消費電力量	DC	
省エネルギー区分	DC	
外形寸法	幅	約567mm
	高さ (スタンド含む)	約344mm (約376mm)
	奥行 (スタンド含む)	約49mm (約177mm)
	質量 (スタンド含む)	3.5kg
液晶パネル	画面サイズ	531.36mm(横)×298.89mm(高さ) 24V型
	駆動方法	TN Mode, Normally White
	画素数	1920X1080
	応答速度	5ms (Typ. On/Off)
	視野角(標準値)	左右約170° / 上下約160°
	輝度(最大値)	220cd/m ²
	コントラスト比(標準値)	1000:1
音声出力	合計 5W(2.5W+2.5W) @ 4Q THD≤10%	
スピーカー	3cmX7cm 2個	
受信チャンネル	地上デジタル: UHF (13~62) CATV パススルー方式対応 (C13~C63)	
入力・出力端子	ビデオ入力	映像: 1V(p-p), 75Ω, 負同期 音声: 500mV(rms), 2kΩ以下 (インピーダンス)
	ヘッドホン端子(出力)	ヘッドホン端子口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω~32Ω
	HDMI入力x2 (DVI-D)	HDMI Ver. 1.3 準拠 HDMI対応入力解像度: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080P DVI-D対応入力解像度: 640X480@60Hz, 800X600@60Hz, 1024X768@60Hz, 1360X768@60Hz, 1920X1080@60Hz
	USB入出力	USB 2.0 に準拠 x1 ※録画HD接続専用端子
	LAN入力	RJ-45 (10BASE-T/100BASE-TX)
再生可能フォーマット	DVD, DVD-R/RW(CPRM), CD, CD-R/RW	
対応フォーマット	DVD-Video, CD-DA, MP3, JPEG	
リモコン	DC3V (単4形乾電池、2個)	
ネットワーク材質	プラスチック	
壁掛け取付寸法	100X100mm	
使用条件	周囲温度: 0℃~35℃, 相対湿度: 20%~80% (結露のないこと)	
付属品	スタンド 2個, スタンド取付ネジ 4個, 専用ACアダプター 1個, 電源コード 1個, mini B-CASカード 1枚, リモコン 1個, 単4形乾電池 2個, 保証書 1枚, 取扱説明書 1部	

- ※本製品は双方向番組、番組連動データ放送に対応しておりますので、これらのサービスについてご利用できます。
- ※本製品は電子番組表 (EPG: 約7分) と字幕・文字スーパー放送に対応しております。
- ※本製品の保証内容は、保証書に記載されている保証規約に準じています。
- ※CATV (ケーブルテレビ) を使用される場合は、ケーブルテレビなどの取扱説明書も併せてお読みください。
- ※付属品の単4形乾電池2本はリモコンの動作確認用です。
- ※この製品は日本国内専用です。
- ※HDMIケーブルで外部機器と接続することによって機能する連動/操作機能に対応しておりません。
- ※本機は、データ放送に対応しております。LANが搭載されており、双方向番組サービス、連動データ放送をご利用できます。
- ※本製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

主な仕様(つづき)

外付けHDD対応機器一覧

下記に記載しているハードディスクは当社で使用を推奨するものです(再生/録画確認済み)。

Buffalo	I/Oデータ	ELECOM	TOSHIBA
HD-LL2.0U3-BKD	AVHD-UTE.0	SGD-EX020UBK	HD-ED0TK
HD-LL2.0U3-BKC	AVHD-AUT.0		
HD-LC2.0U3-BKD/WHC	AVHD-AUT.2.0B		
HD-LC1.0U3-BKC/WHC			
HD-LC2.0U3-BKC/WHC			

※オプションのACアダプターが必要です。

注意事項

- ※ハードディスクに録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- ※本機で使用したハードディスクは、本機でのみ再生録画ができます。
- ※本機で使用するハードディスクは本機以外と接続しても、録画した番組を視聴できません。また、同製品へ録画済みハードディスクを接続しても再生はできません。本機以外へハードディスクを接続すると初期化されて、保存したデータが削除されるおそれがあります。
- ※本機以外で使用していたハードディスクを本機で使用する場合は、P15を参照していただきハードディスクの初期化を行ってください。初期化するハードディスク内のデータは消去されますのでご注意ください。
- ※上記製品の仕様規格に準ずるハードディスクであれば他社製品であっても使用できますが、正常に使用することができずともまたその責任を負いません。
- ※本製品の製造後に発表された新しいデータ書き込み速度やデータ転送方法では使用できない場合があります。
- ※本製品の製造後に発売されたハードディスクは使用できない場合があります。
- ※USBに接続するハードディスクを本製品ではじめてのご使用になる場合は、本機へ接続して初期化を行ってから使用してください。
- ※パソコンなどのデータがある場合は消去してしまうのでご注意ください。
- ※USBフラッシュメモリは使用しないでください。
- ※電源非供給タイプ(バスパワータイプ)のハードディスクは使用できません。
- ※Flash-SSD (ソリッドステートドライブ) は使用しないでください。
- ※電源供給型のハードディスク(標準規格USB2.0HDD)を使用してください。使用時にはHDDに付属している取扱説明書も併せてご覧ください。
- ※ハードディスクを使用中(アクセス中)に本製品から取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画や再生が正常に行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- ※ハードディスクを取り外す場合には設定メニューから「機能設定」→「ハードディスク」→「ディスク取り外し」を選択してからUSBを抜いてください。
- ※録画した番組を再生すると、映像と音声が多量に減る場合がありますのでご了承ください。
- ※USBケーブルやハードディスクは信頼のおける高品質なものをお使いください。
- ※本製品で使用できるハードディスク(HDD)は、DVDディスク等と違い半永久的に使用/保存できる記録メディアではありません。
- ※録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。
- ※ディスクをへぐために記録しておいた番組を録画する場合には、複製コピーや移動ムーブができるCPRM対応レコーダー等の使用をお勧めします。
- ※物理的な衝撃(落下、重畳物を本製品にぶつけるなど)を与えないでください。
- ※テレビや機上の、揺れる場所など不安定な場所で使用しないでください。
- ※分解や変形させないでください。
- ※電気を近づけないでください。
- ※電圧が変動していると恐れられる場所の付近で使用しないでください。
- ※高温になる場所(自動庫内、直射日光の当たる窓際など)で使用や放置をしないでください。
- ※高温になる場所を使用すると故障の原因となりますので、本製品は最適な良い場所へ設置してお使いください。

アフターサービス

- 本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。
- 万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください。
(有料)
- 高温に対するご注意
特に夏場での窓を閉めきった自動車内や直射日光の当たるところ、暖房器具の近くには放置しないでください。高温により変色や故障の原因になります。
- 保証書
本製品には保証書が付いています。
保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。
保証期間はお買上げ日より1年間です。
- 修理を依頼する時
 - ※ 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容により無料修理いたします。
 - ※ 保証期間が過ぎている時は
弊社またはお買上げの販売店にご相談ください。
- 補修用性能部品の保有期間
この24V型DVDプレーヤー内蔵デジタルフルハイビジョン液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合
アフターサービスについてご不明の場合には、弊社またはお買上げの販売店にお問い合わせください。

お客様サポートセンターのご案内

製品に関するお問合せ窓口

TEL : 0265-70-9257

FAX : 0265-96-0258

受付時間：10時～17時

(土、日、祝祭日、及び弊社指定休業日を除く)

〒399-4603 長野県上伊那郡箕輪町三日町655

■輸入販売元

株式会社ビズライフ

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-7-7ソフト99ビル6F